

性的マイノリティに関する
市民意識調査報告書

2020（令和2）年2月

岡山市

目 次

I	調査概要	1
1	調査目的	1
2	調査設計	1
3	調査項目（概要）	1
4	回収結果	1
5	標本誤差	2
6	報告書の見方	2
II	回答者の属性	3
III	調査結果	4
1	本市における性的マイノリティの現状	4
2	当事者の現状	8
3	周囲の対応	16
4	課題解決に必要なこと	20
IV	まとめ	36
V	資料（調査票）	39

用語解説

性的マイノリティ

同性愛や両性愛の性的指向をもつ人や、性の自己認識「こころの性」と生物学的な性「からだの性」が一致していない性別違和のある人など、性のあり方において、少数派である人々のこと。

性自認

「自分の性別をどう認識しているか」という自己意識の概念

性的指向

「どんな性別の人を好きになるか」という概念

トランスジェンダー

「からだの性」とらわれない「こころの性」のあり方をもつ人

性同一性障害

「こころ」と「からだ」の性が一致しないと診断された人たちに対する医学的な疾患・診断名のこと。

カミングアウト

自分が性的マイノリティであることを打ち明けること。

アウトティング

本人の許可なく、性的マイノリティであることを周囲の人へ伝えること。

アライ

性的マイノリティ当事者ではないが、活動を支持、支援している人たちのこと。

パートナーシップ証明書

一定の要件のもとで、地方自治体が同性カップル等を結婚に相当する関係と認める制度。法的な拘束力はない。

I 調査概要

1 調査目的

性的マイノリティに関して効果的な施策や事業を検討する基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査設計

- (1) 調査地域 岡山市全域
- (2) 調査対象 18歳以上の男女（住民基本台帳記載者）
- (3) 標本数 3,000人
- (4) 抽出方法 単純無作為抽出法
- (5) 調査方法 郵送による配布・回収
- (6) 調査期間 令和元年8月1日（木）～8月31日（土）

3 調査項目（概要）

- (1) 本市における性的マイノリティの現状
- (2) 当事者の現状
- (3) 周囲の対応
- (4) 課題解決に必要なこと

4 回収結果

調査票の回収率

配布	回収数	無効数	有効回収数	有効回収率
3,000通	1,089通	0通	1,089通	36.3%

(注) 有効回収率 (%) = 有効回収数 ÷ 配布数 × 100

5 標本誤差

本調査は、標本調査であるため、標本による測定値（ある設問の回収率）から母集団の意向を推定することができる。

通常、世論調査などは、信頼度 95%（同一調査を 100 回行えば、95 回まではこの結果になるであろうという推定）のレベルを求められるのが一般的であり、これに基づく標本測定値の標本誤差の近似式は、次の公式で求められる。

$$\varepsilon = 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

ε : 標本誤差 n : 標本数（本調査では 1,089 人）
 N : 母集団数 P : 回答率（標本測定値）
（N : 母集団数 令和元年 7 月末時点 18 歳以上人口 592,792 人）

上記の公式を用いて、本調査における信頼度 95%の標本誤差を求めると右の表のとおりとなる。

例えば「AとBのどちらが好き」という質問で、「A」と答えた人が 30%であったと仮定して右記の表を見ると、「標本における比率」が 30%の測定値の標本誤差は 2.7%の範囲であり、この信頼区間は、抽出された標本の平均値とともに調査をするたびに变化するものであり、同じ手順で調査を繰り返すと、95%の確立で真の母集団の平均を含む区間が求められていることを示している。

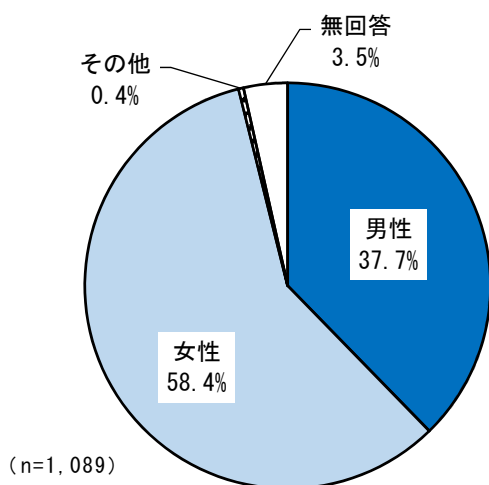
測定値	信頼区間の 1/2 の幅
50%	±3.0%
45・55	±3.0%
40・60	±2.9%
35・65	±2.8%
30・70	±2.7%
25・75	±2.6%
20・80	±2.4%
15・85	±2.1%
10・90	±1.8%
5・95	±1.3%

6 報告書の見方

- (1) 各選択肢において示される比率 (%) は、当該選択肢を選んだ回答者数に対する比率である。
- (2) 小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、単数回答（1 つを選んで回答する）を求めた設問であっても、比率の合計が 100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答（2 つ以上回答できる）を求めた設問では比率の合計は 100%を超える。
- (4) 各設問の「その他」欄に記入された回答、及び自由記述に寄せられた意見については、性別等を考慮し多様な意見を選択し、句読点も含めてほぼ原文のまま掲載している。
- (5) 回答者数 20 人以下の回答傾向は、原則記述しないこととする。

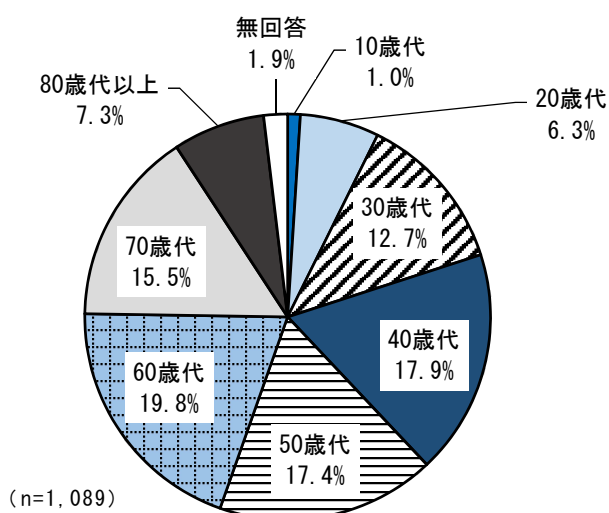
II 回答者の属性

(1) 性別



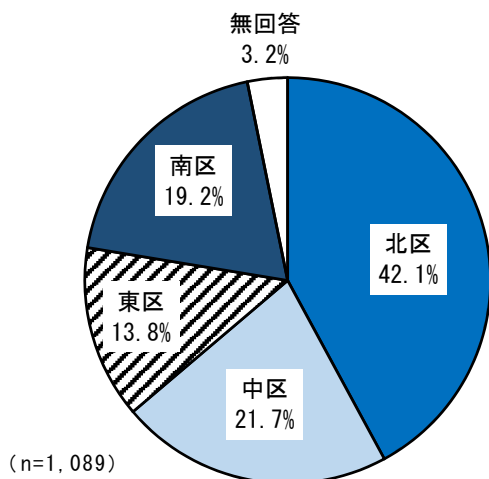
	回答数	構成割合 (%)
男性	411	37.7
女性	636	58.4
その他	4	0.4
無回答	38	3.5

(2) 年齢



	回答数	構成割合 (%)
10歳代	11	1.0
20歳代	69	6.3
30歳代	138	12.7
40歳代	195	17.9
50歳代	190	17.4
60歳代	216	19.8
70歳代	169	15.5
80歳代以上	80	7.3
無回答	21	1.9

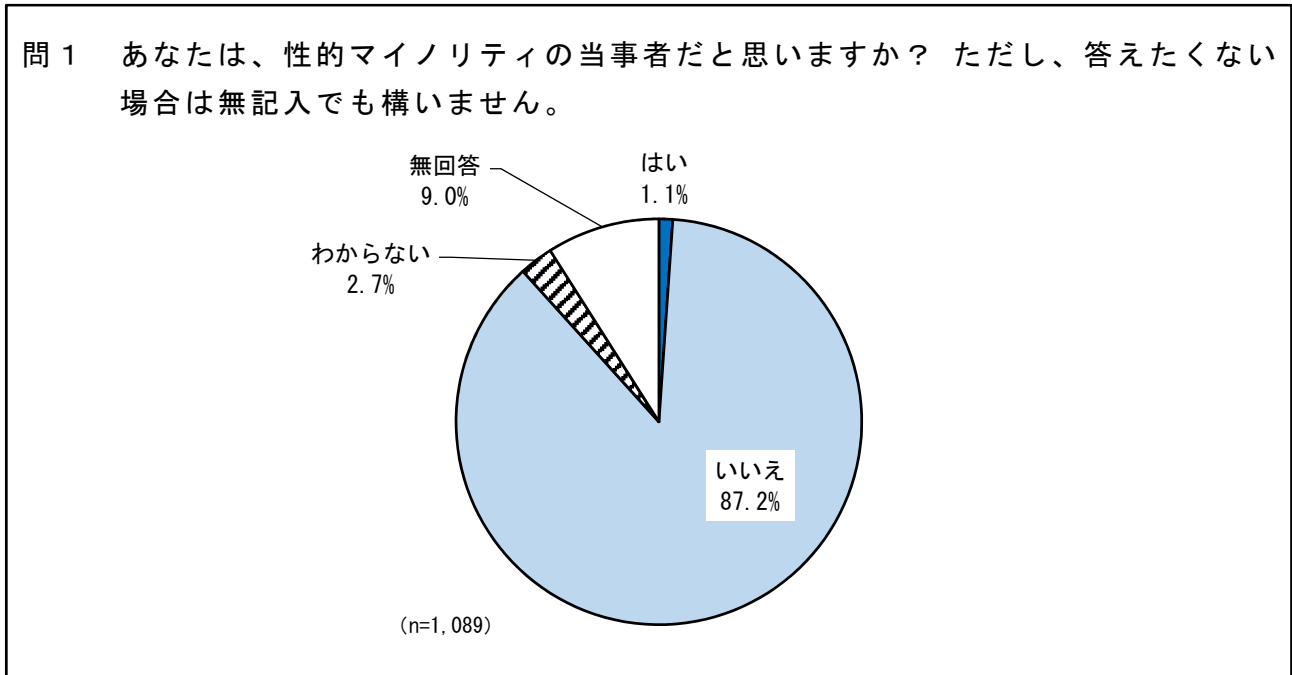
(3) 居住区



	回答数	構成割合 (%)
北区	459	42.1
中区	236	21.7
東区	150	13.8
南区	209	19.2
無回答	35	3.2

Ⅲ 調査結果

1 本市における性的マイノリティの現状



自分を性的マイノリティの当事者だと思うかについて、「いいえ」との回答が87.2%、「はい」との回答が1.1%となっている。また、「わからない」が2.7%となっている。

		回答者数 (人)	はい	いいえ	わからない	無回答
全体		1089	1.1	87.2	2.7	9.0
性別	男性	411	0.5	90.3	2.4	6.8
	女性	636	0.9	86.9	3.0	9.1
	その他	4	75.0	-	-	25.0
	無回答	38	2.6	68.4	-	28.9
年齢別	10歳代	11	18.2	72.7	9.1	-
	20歳代	69	4.3	85.5	1.4	8.7
	30歳代	138	0.7	86.2	4.3	8.7
	40歳代	195	0.5	89.2	2.1	8.2
	50歳代	190	1.1	90.5	1.1	7.4
	60歳代	216	-	89.4	1.4	9.3
	70歳代	169	1.2	86.4	4.7	7.7
	80歳代以上	80	1.3	78.8	5.0	15.0
	無回答	21	-	76.2	-	23.8

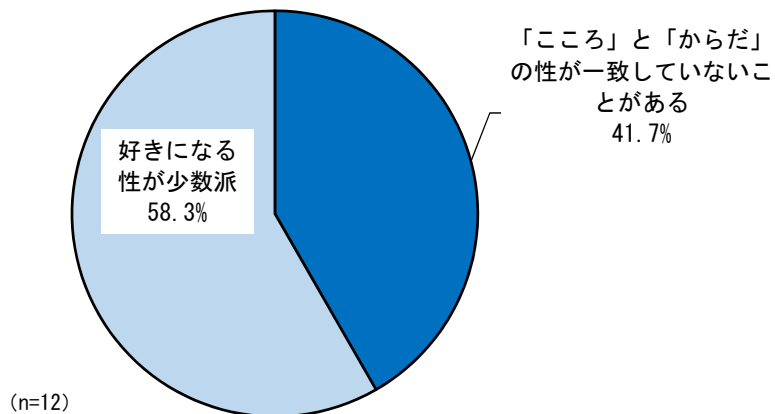
※当事者に関わる項目のため、居住区別については記載していません。

性別にみると、男性と女性とで大きな差はみられないが、「はい」との回答はその他が7割台半ばと高くなっている。

年齢別にみると、大きな差はみられない。

問 1 で「はい」と答えた方にお聞きします。

問 1-1 あなた自身に近いものはどれですか？（〇はいくつでも）

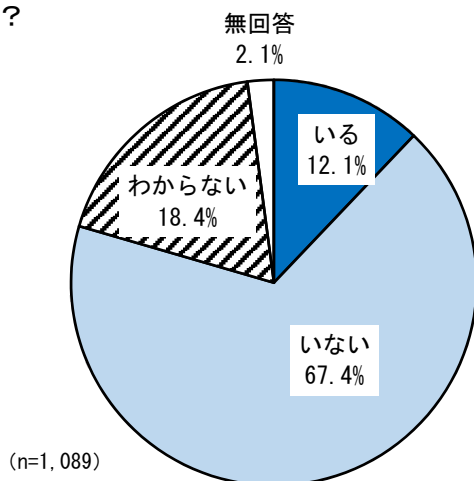


あなた自身に近いものについて、「好きになる性が少数派」との回答が 58.3%、「『ころ』と『からだ』の性が一致していないことがある」との回答が 41.7%となっている。また、「その他の点で少数派」との回答は 0%だった。

		回答者数 (人)	いが「こ こ一致ら がしだる あていの あるな性	少好 数き 派に なる 性が	数そ 派の 他の 点で少	(%) 無 回 答
全体		12	41.7	58.3	-	-
性別	男性	2	50.0	50.0	-	-
	女性	6	16.7	83.3	-	-
	その他	3	66.7	33.3	-	-
	無回答	1	100.0	-	-	-
年齢別	10歳代	2	50.0	50.0	-	-
	20歳代	3	33.3	66.7	-	-
	30歳代	1	-	100.0	-	-
	40歳代	1	-	100.0	-	-
	50歳代	2	50.0	50.0	-	-
	60歳代	-	-	-	-	-
	70歳代	2	100.0	-	-	-
	80歳代以上	1	-	100.0	-	-
	無回答	-	-	-	-	-

※当事者に関わる項目のため、居住区別については記載していません。

問2 あなたの周り（家族、友人、職場や学校の知人等）に、性的マイノリティの当事者はいますか？



周りの性的マイノリティの当事者の存在について、「いない」との回答が67.4%、「いる」との回答が12.1%となっている。また、「わからない」との回答が18.4%と高くなっている。

(%)

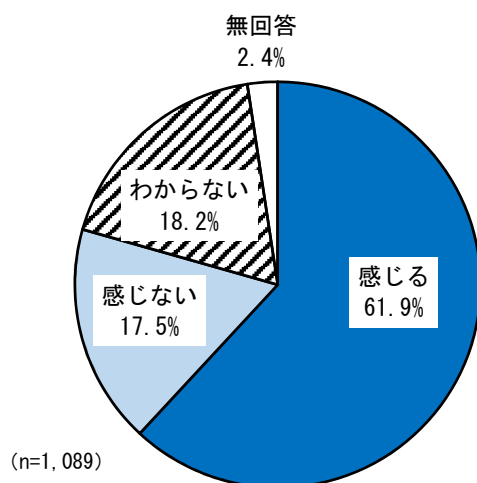
		回答者数 (人)	いる	いない	わからない	無回答
全体		1089	12.1	67.4	18.4	2.1
性別	男性	411	7.8	72.5	18.5	1.2
	女性	636	14.6	65.3	18.4	1.7
	その他	4	75.0	-	-	25.0
	無回答	38	10.5	55.3	18.4	15.8
年齢別	10歳代	11	18.2	54.5	27.3	-
	20歳代	69	23.2	47.8	29.0	-
	30歳代	138	22.5	58.7	18.8	-
	40歳代	195	11.3	67.2	20.0	1.5
	50歳代	190	12.6	64.7	21.1	1.6
	60歳代	216	9.7	72.2	15.3	2.8
	70歳代	169	7.1	79.9	12.4	0.6
	80歳代以上	80	2.5	73.8	16.3	7.5
	無回答	21	9.5	47.6	23.8	19.0

※当事者に関わる項目のため、居住区別については記載していません。

性別にみると、「いる」との回答は女性（14.6%）が男性（7.8%）を6.8ポイント上回っている。

年齢別にみると、「いる」との回答は20歳代で23.2%と最も高く、年齢が上がるにつれて低くなる傾向がみられる。

問3 あなたは、性的マイノリティに対する社会的な関心が高まっていると感じますか？



社会的な関心が高まっていると「感じる」との回答は61.9%、「感じない」との回答は17.5%となっている。また、「わからない」との回答は18.2%となっている。

		回答者数 (人)	感じる	感じない	わからない	無回答
全体		1089	61.9	17.5	18.2	2.4
性別	男性	411	59.4	21.2	18.0	1.5
	女性	636	64.8	14.9	18.2	2.0
	その他	4	50.0	25.0	-	25.0
	無回答	38	42.1	21.1	21.1	15.8
年齢別	10歳代	11	54.5	27.3	18.2	-
	20歳代	69	60.9	30.4	8.7	-
	30歳代	138	76.8	10.9	12.3	-
	40歳代	195	70.8	11.8	15.9	1.5
	50歳代	190	65.3	15.8	16.8	2.1
	60歳代	216	59.3	19.9	17.6	3.2
	70歳代	169	50.9	20.1	27.2	1.8
	80歳代以上	80	48.8	22.5	22.5	6.3
	無回答	21	23.8	19.0	38.1	19.0
居住区別	北区	459	61.2	18.7	18.1	2.0
	中区	236	63.6	17.4	16.1	3.0
	東区	150	65.3	14.7	18.7	1.3
	南区	209	62.7	17.2	18.2	1.9
	無回答	35	40.0	17.1	31.4	11.4

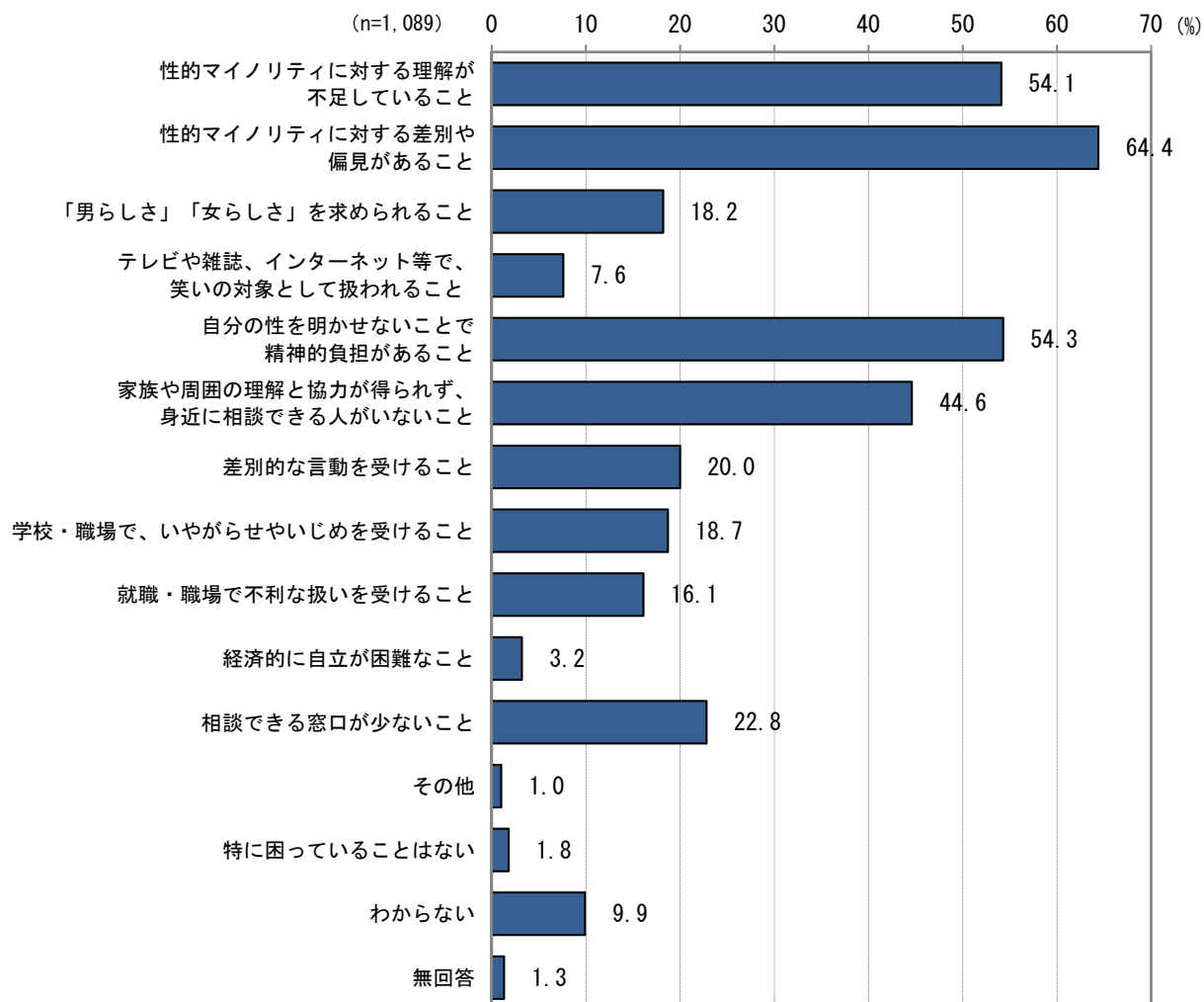
性別にみると、「感じない」との回答は男性（21.2%）が女性（14.9%）を6.3ポイント上回っている。

年齢別にみると、「感じる」との回答は30歳代で7割台半ば、40歳代で約7割と高くなっている一方、「感じない」との回答は20歳代で約3割と高くなっている。

居住区別でみると、大きな差はみられない。

2 当事者の現状

問4 性的マイノリティの当事者が困っていることは、特に何だと思えますか？
 (○は4つまで)



<主なその他の回答>

- ・全部○をしたい。(女性/60歳代/南区)
- ・当事者でないとわからないと思う。(男性/70歳代/中区)
- ・人生で何人か出会ったことはあるが、堂々と生きている。今、なぜ取り上げているのかよくわからない。差別したことは一切ない。(男性/60歳代/北区)
- ・理解とか差別偏見はマイノリティではなくてもある。法的に認めてないからでは…
 (女性/40歳代/中区)

当事者が困っていると思うことについて、「性的マイノリティに対する差別や偏見があること」との回答が64.4%と最も高く、次いで「自分の性を明かせないことで精神的負担があること」(54.3%)、「性的マイノリティに対する理解が不足していること」(54.1%)などの順となっている。

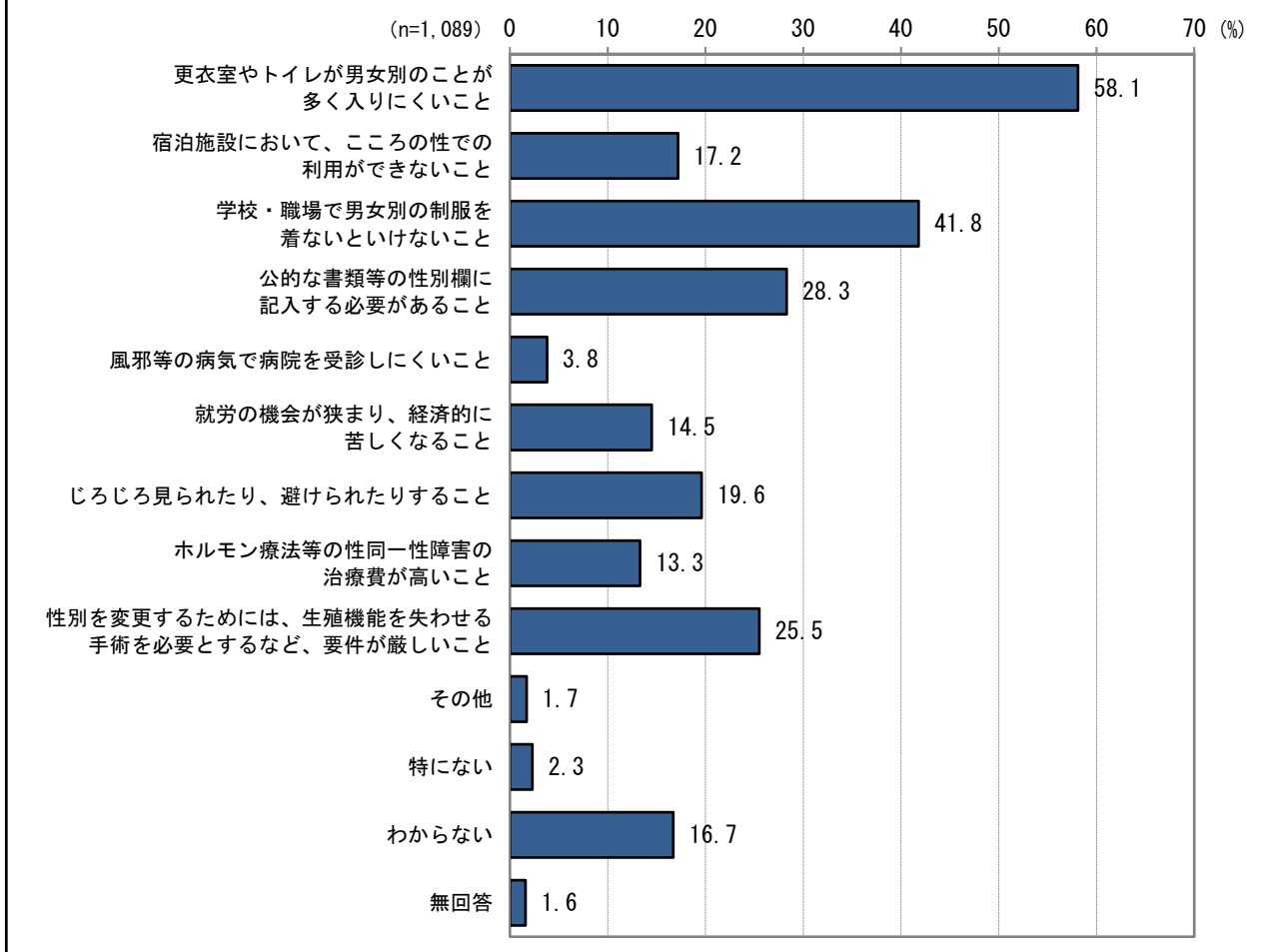
	回答者数 (人)	性的マイノリティに 対する理解が不足し ていること	性的マイノリティに 対する差別や偏見が あること	「男らしさ」「女ら しき」を求められる こと	テレビや雑誌、イン ターネット等で、イ ンタラクティブな対 象として扱われる こと	自分の性を明かせな いこと、精神的負担 があること	近しい人との相談で ないこと	家族や周囲の理解と 協力が得られず、身 に力が入らないこと	差別的な言動を受け ること	学校・職場で、いや がらせやいじめを受 けること
全体	1089	54.1	64.4	18.2	7.6	54.3	44.6	20.0	18.7	
性別	男性	411	56.4	61.3	13.6	9.7	47.2	41.4	19.7	17.8
	女性	636	53.5	67.6	20.6	6.4	59.0	48.0	20.4	20.3
	その他	4	25.0	75.0	75.0	-	50.0	-	25.0	50.0
	無回答	38	42.1	42.1	21.1	5.3	52.6	28.9	15.8	-
年齢別	10歳代	11	36.4	90.9	27.3	9.1	54.5	36.4	27.3	36.4
	20歳代	69	53.6	69.6	31.9	10.1	56.5	47.8	29.0	21.7
	30歳代	138	47.1	65.2	30.4	6.5	52.9	51.4	23.9	28.3
	40歳代	195	55.4	70.3	19.5	4.6	55.9	49.7	19.5	16.9
	50歳代	190	58.4	71.6	15.3	8.9	65.3	47.9	22.1	18.9
	60歳代	216	58.3	65.3	16.2	6.0	63.4	49.5	18.5	18.5
	70歳代	169	55.0	59.8	9.5	10.1	40.8	29.6	18.9	17.8
	80歳代以上	80	46.3	38.8	10.0	11.3	28.7	36.3	7.5	8.8
	無回答	21	38.1	33.3	23.8	4.8	52.4	19.0	19.0	-
居住区別	北区	459	50.3	65.4	15.7	8.3	57.1	46.2	22.0	18.5
	中区	236	58.5	62.3	18.6	5.1	58.5	44.9	17.8	17.8
	東区	150	54.7	67.3	20.0	8.7	52.7	41.3	19.3	22.7
	南区	209	58.4	65.6	20.1	8.6	46.4	45.5	18.2	18.7
	無回答	35	45.7	45.7	28.6	5.7	42.9	31.4	22.9	11.4
	回答者数 (人)	扱いを受 けること を職業・ 職場で不 利なこと	経済的に 自立が困 難なこと	相談でき る窓口が 少ないこと	その他	特に困 っている こと	わから ない	無回 答		
全体	1089	16.1	3.2	22.8	1.0	1.8	9.9	1.3		
性別	男性	411	13.1	2.7	20.9	1.7	2.9	12.2	0.7	
	女性	636	18.6	3.8	24.1	0.6	0.9	8.0	0.9	
	その他	4	-	-	-	-	-	-	25.0	
	無回答	38	7.9	-	23.7	-	5.3	18.4	10.5	
年齢別	10歳代	11	9.1	-	9.1	-	-	-	-	
	20歳代	69	7.2	1.4	23.2	-	-	8.7	-	
	30歳代	138	13.8	0.7	14.5	2.2	0.7	5.1	0.7	
	40歳代	195	19.0	4.1	17.4	1.5	2.1	8.2	-	
	50歳代	190	13.7	2.1	24.2	0.5	1.1	4.2	0.5	
	60歳代	216	21.3	2.8	24.1	0.9	-	6.0	0.5	
	70歳代	169	16.6	6.5	30.2	1.2	4.1	17.2	2.4	
	80歳代以上	80	12.5	5.0	31.3	-	7.5	30.0	5.0	
	無回答	21	14.3	-	14.3	-	-	23.8	14.3	
居住区別	北区	459	17.0	2.4	23.3	0.4	1.5	9.4	1.1	
	中区	236	12.3	4.2	22.9	1.7	2.5	9.3	0.4	
	東区	150	18.0	2.7	18.7	0.7	2.7	9.3	2.7	
	南区	209	18.2	4.3	24.9	1.4	1.4	10.0	0.5	
	無回答	35	8.6	2.9	20.0	2.9	-	22.9	8.6	

性別にみると、「自分の性を明かせないことで精神的負担があること」との回答は女性（59.0%）が男性（47.2%）を11.8ポイント上回っている。

年齢別にみると、『男らしさ』『女らしさ』を求められること」との回答は20歳代と30歳代で3割超と高くなっている。

居住区別にみると、「自分の性を明かせないことで精神的負担があること」との回答は南区で4割台半ばと低くなっている。

問5 「こころ」と「からだ」の性が異なる性同一性障害の人々（トランスジェンダー）の生きづらさは、特に何だと思えますか？（○は3つまで）



〈主なその他の回答〉

- ・差別されていると思う気持ちをなくし堂々と生活しても良い時代だと思う。マスコミがおもしろがって取り上げている部分が、今の環境を逆につくっているようにも思われる点がある。（男性/60歳代/北区）
- ・生活の全ての局面で、男か女か申告をせまられること。（女性/50歳代/中区）
- ・トランスジェンダーについて理解するチャンスがないこと。（女性/60歳代/北区）

性同一性障害の人々（トランスジェンダー）の生きづらさについて、「更衣室やトイレが男女別のことが多く入りにくいこと」との回答が58.1%と最も高く、次いで「学校・職場で男女別の制服を着ないといけないこと」（41.8%）、「公的な書類等の性別欄に記入する必要があること」（28.3%）、「性別を変更するためには、生殖機能を失わせる手術を必要とするなど、要件が厳しいこと」（25.5%）などの順となっている。

(%)

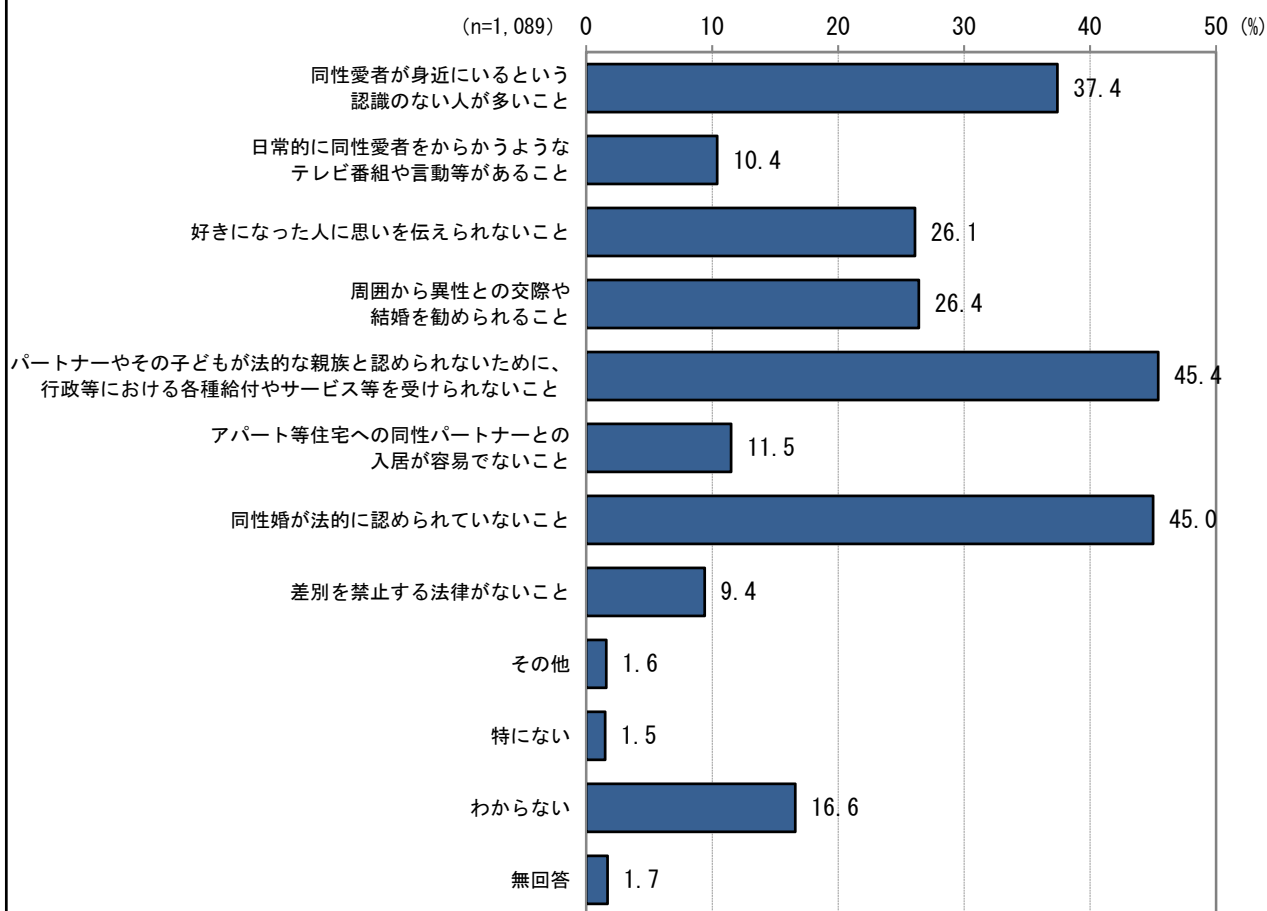
	回答者数 (人)	更衣室やトイレが男 女別のことが多いこと	宿泊施設において、 できる性での利用 ができないこと	学校の制服・職場で男 女別の制着がないこと	公的な書類等の性別 欄に記入する必要が あること	風邪等の病気で病院 を受診しにくいこと	就労の機会が狭ま り、経済的に苦しく なること	じろじろ見られたり り、避けられたりす ること	
全体	1089	58.1	17.2	41.8	28.3	3.8	14.5	19.6	
性別	男性	411	54.5	20.2	33.6	28.2	3.6	14.4	20.7
	女性	636	60.8	15.3	47.6	29.4	3.8	14.3	19.3
	その他	4	75.0	-	50.0	25.0	-	50.0	-
	無回答	38	50.0	18.4	31.6	10.5	5.3	15.8	13.2
年齢別	10歳代	11	100.0	-	54.5	45.5	-	-	27.3
	20歳代	69	72.5	23.2	49.3	29.0	5.8	8.7	21.7
	30歳代	138	73.9	23.9	50.0	18.8	2.2	6.5	21.7
	40歳代	195	58.5	20.5	41.0	26.2	2.1	15.9	15.9
	50歳代	190	60.5	18.9	48.9	31.6	2.1	10.5	24.2
	60歳代	216	57.9	13.9	40.3	32.9	4.2	19.0	18.1
	70歳代	169	45.0	10.7	32.5	31.4	5.3	21.3	21.3
	80歳代以上	80	40.0	12.5	26.3	26.3	10.0	13.8	13.8
	無回答	21	38.1	19.0	47.6	4.8	-	19.0	9.5
居住区別	北区	459	59.3	16.3	42.0	28.3	3.7	15.7	18.5
	中区	236	56.4	15.3	44.9	30.5	4.2	13.6	17.8
	東区	150	62.0	20.0	39.3	28.0	1.3	12.7	20.7
	南区	209	56.0	18.2	39.7	30.1	5.3	14.4	22.5
	無回答	35	51.4	22.9	40.0	2.9	2.9	14.3	22.9
	回答者数 (人)	同一性障害の治療費 が高いこと	ホルモン療法の性 差	性別を 変更 する ため に 手術 を必 要と す る た め に 手 術 費 が 高 い こ と	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答		
全体	1089	13.3	25.5	1.7	2.3	16.7	1.6		
性別	男性	411	9.5	20.7	1.7	3.9	20.0	1.7	
	女性	636	15.7	29.7	1.7	1.3	14.5	0.6	
	その他	4	25.0	25.0	-	-	-	25.0	
	無回答	38	13.2	7.9	-	2.6	21.1	13.2	
年齢別	10歳代	11	-	18.2	-	-	-	-	
	20歳代	69	11.6	30.4	-	1.4	7.2	-	
	30歳代	138	19.6	34.8	0.7	0.7	8.7	-	
	40歳代	195	14.9	29.7	0.5	0.5	16.4	-	
	50歳代	190	18.4	26.3	2.6	1.6	12.1	0.5	
	60歳代	216	10.6	27.3	2.3	1.9	15.7	0.5	
	70歳代	169	7.1	17.8	2.4	7.1	26.6	2.4	
	80歳代以上	80	11.3	11.3	2.5	3.8	32.5	8.8	
	無回答	21	9.5	4.8	-	-	23.8	19.0	
居住区別	北区	459	16.1	27.9	1.5	2.8	14.2	1.3	
	中区	236	11.4	27.5	2.1	3.0	16.5	0.4	
	東区	150	12.7	21.3	-	2.7	19.3	4.0	
	南区	209	10.5	23.4	2.4	0.5	20.1	-	
	無回答	35	8.6	11.4	2.9	-	20.0	11.4	

性別にみると、「学校・職場で男女別の制服を着ないといけないこと」との回答は女性（47.6%）が男性（33.6%）を14.0ポイント、「性別を変更するためには、生殖機能を失わせる手術を必要とするなど、要件が厳しいこと」との回答は女性（29.7%）が男性（20.7%）を9.0ポイント上回っている。

年齢別にみると、「更衣室やトイレが男女別のことが多く入りにくいこと」との回答が30歳代以下で7割超と高くなっている。

居住区別にみると、大きな差はみられない。

問6 同性愛や両性愛のような性的指向がマイノリティである人の生きづらさは、特に何だと思いますか？（〇は3つまで）



〈主なその他の回答〉

- ・ 少数派として扱われること。全て一般的であるのに。（その他/30歳代/東区）
- ・ カミングアウトした際の周囲の敬遠（男性/30歳代/北区）
- ・ LGBは性嗜好だと思っている人が多いから。私もですが…（女性/50歳代/中区）
- ・ 同性愛や両性愛は一時的なもので、「治るもの」と思われがちなところ←特に古い世代（女性/50歳代/中区）
- ・ ”普通”と違うこと。（男性/30歳代/東区）

性的指向がマイノリティである人の生きづらさについて、「パートナーやその子どもが法的な親族と認められないために、行政等における各種給付やサービス等を受けられないこと」との回答が45.4%と最も高く、次いで「同性婚が法的に認められていないこと」（45.0%）、「同性愛者が身近にいるという認識のない人が多いこと」（37.4%）などの順となっている。

(%)

	回答者数 (人)	同性愛者が身近に いるという認識の ない人が多いこと	日常的に同性愛者 をからかうような 発言や行動があ ること	好きになつた人 を伝えるに思 い	周囲から異性との 交際や結婚を勧め られること	法的な親族と認め ないために、行政 等各種給付やサー ビスを受けられない こと	アパート等住宅 への入居が容易で ないこと	
全体	1089	37.4	10.4	26.1	26.4	45.4	11.5	
性別	男性	411	38.9	13.4	27.3	22.1	38.9	10.9
	女性	636	36.6	8.5	25.5	29.6	49.8	11.2
	その他	4	25.0	25.0	75.0	25.0	25.0	-
	無回答	38	34.2	7.9	18.4	18.4	42.1	23.7
年齢別	10歳代	11	54.5	9.1	54.5	27.3	18.2	18.2
	20歳代	69	36.2	14.5	33.3	34.8	47.8	14.5
	30歳代	138	31.2	11.6	37.0	42.0	52.9	17.4
	40歳代	195	34.4	6.2	33.3	29.2	51.3	13.3
	50歳代	190	43.2	13.7	25.8	26.3	51.6	6.3
	60歳代	216	37.5	8.8	22.7	22.7	50.0	12.5
	70歳代	169	37.9	11.2	13.0	16.6	30.8	9.5
	80歳代以上	80	40.0	8.8	20.0	16.3	25.0	7.5
	無回答	21	33.3	14.3	14.3	23.8	38.1	9.5
居住区別	北区	459	36.2	9.2	27.0	24.6	47.3	12.9
	中区	236	38.6	11.4	24.2	30.1	47.0	8.9
	東区	150	42.0	9.3	34.0	24.7	41.3	10.7
	南区	209	35.4	12.0	22.0	27.8	45.0	12.4
	無回答	35	37.1	14.3	17.1	22.9	28.6	8.6
	回答者数 (人)	同性婚が法的に認 められていないこと	差別を禁止する法 律がないこと	その他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答	
全体	1089	45.0	9.4	1.6	1.5	16.6	1.7	
性別	男性	411	40.1	9.2	1.9	2.4	19.0	1.7
	女性	636	49.4	9.4	1.3	0.8	15.1	0.8
	その他	4	75.0	-	25.0	-	-	25.0
	無回答	38	21.1	10.5	-	2.6	18.4	13.2
年齢別	10歳代	11	63.6	9.1	-	-	-	-
	20歳代	69	55.1	8.7	-	-	8.7	-
	30歳代	138	53.6	5.1	2.2	0.7	9.4	-
	40歳代	195	46.7	7.7	1.0	1.0	13.3	-
	50歳代	190	44.7	9.5	2.1	-	11.6	1.1
	60歳代	216	47.7	10.2	1.9	0.9	15.7	0.9
	70歳代	169	39.1	13.0	1.8	5.3	30.2	3.0
	80歳代以上	80	30.0	12.5	1.3	2.5	30.0	7.5
	無回答	21	9.5	4.8	-	-	23.8	14.3
居住区別	北区	459	47.1	8.3	1.7	1.7	15.7	1.3
	中区	236	47.0	10.2	1.3	2.1	14.4	1.3
	東区	150	44.0	7.3	2.0	1.3	18.0	3.3
	南区	209	43.5	12.4	1.4	0.5	19.6	0.5
	無回答	35	17.1	8.6	-	-	20.0	8.6

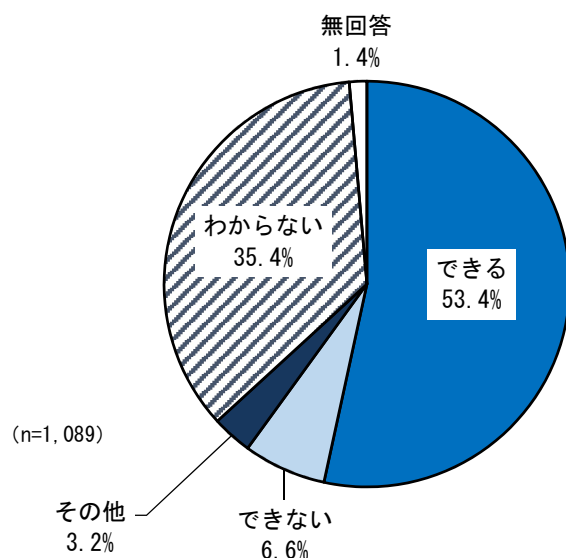
性別にみると、「パートナーやその子どもが法的な親族と認められないために、行政等における各種給付やサービス等を受けられないこと」との回答は女性（49.8%）が男性（38.9%）を 10.9 ポイント、「同性婚が法的に認められていないこと」との回答は女性（49.4%）が男性（40.1%）を 9.3 ポイント上回っている。

年齢別にみると、「周囲から異性との交際や結婚を勧められること」との回答は 30 歳代で 4 割超と最も高く、年齢が上がるにつれて低くなる傾向がみられる。

居住区別にみると、「好きになった人に思いを伝えられないこと」との回答は東区で 3 割台半ばと高くなっている。

3 周囲の対応

問7 あなたが同じ学校や職場の人、友人から性的マイノリティだとカミングアウトされた場合、いままでどおり付き合うことができますか？



<主なその他の回答>

- ・自分が対象でなければ可能（女性/40歳代/東区）
- ・初めは戸惑うが、時間はかかっても今まで通り付き合っていたらいいと思う。
(女性/30歳代/南区)
- ・状況による。単純にカミングアウトだけであれば今までどおりの付き合いができるが、自分が恋愛対象の場合は避けてしまうかもしれない。(男性/30歳代/中区)
- ・多分できると思うが気を使う部分もあると思う。(女性/50歳代/中区)
- ・気持ちの整理（受け入れ）に時間がかかると思う。(女性/50歳代/北区)
- ・付き合いは継続できるがいままで通りとはいかない。やはり意識して言動に注意する。(男性/40歳代/北区)
- ・自分自身がそうなので気にしない。(その他/20歳代/中区)

同じ学校や職場の人、友人からカミングアウトされた場合について、付き合うことが「できる」との回答が53.4%、「できない」との回答が6.6%となっている。また、「わからない」との回答が35.4%と高くなっている。

(%)

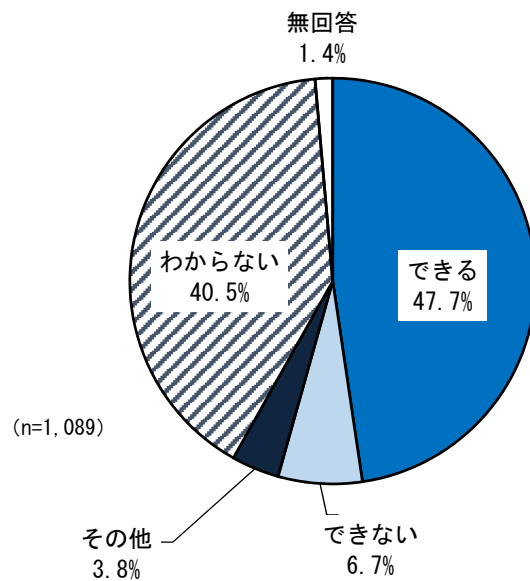
		回答者数 (人)	できる	できない	その他	わからない	無回答
全体		1089	53.4	6.6	3.2	35.4	1.4
性別	男性	411	46.7	10.2	2.2	39.7	1.2
	女性	636	59.0	4.6	3.8	31.9	0.8
	その他	4	50.0	-	25.0	-	25.0
	無回答	38	34.2	2.6	2.6	50.0	10.5
	10歳代	11	90.9	-	-	9.1	-
年齢別	20歳代	69	72.5	-	2.9	24.6	-
	30歳代	138	65.2	2.9	6.5	25.4	-
	40歳代	195	64.1	2.1	2.6	31.3	-
	50歳代	190	58.9	3.7	3.7	32.6	1.1
	60歳代	216	55.6	6.9	2.3	34.3	0.9
	70歳代	169	32.5	14.2	3.0	49.1	1.2
	80歳代以上	80	20.0	21.3	2.5	48.8	7.5
	無回答	21	19.0	4.8	-	61.9	14.3
	居住区別	北区	459	55.1	6.3	2.2	35.5
中区		236	57.2	6.8	3.8	30.9	1.3
東区		150	51.3	5.3	3.3	37.3	2.7
南区		209	50.7	7.7	4.3	36.8	0.5
無回答		35	31.4	8.6	5.7	45.7	8.6

性別にみると、「できる」との回答は女性（59.0%）が男性（46.7%）を12.3ポイント上回っている。

年齢別にみると、「できる」との回答は20歳代で7割超と高く、年齢が上がるにつれて低くなっている。

居住区別にみると、大きな差はみられない。

問 8 あなたの家族から性的マイノリティだとカミングアウトされた場合、いままでどおり接することができますか？



〈主なその他の回答〉

- ・相当ショックを受ける。考えて、考えて、次第に応援するでしょう。
(女性/70歳代/南区)
- ・すぐに現実として受け入れることはむずかしいかもしれない。本人の気持ちをしっかり受けとめて、本人が幸せと感じる生き方を選ぶならば、家族として応援しようと思う。
(女性/60歳代/北区)
- ・今まで通り接する自信は持てないが、理解できるよう勉強したい。
(男性/30歳代/北区)
- ・できると言いたいけれど悩んでしまう気がする。
(女性/30歳代/北区)
- ・できるように努力するつもり。本人に罪はないので。
(女性/70歳代/北区)
- ・今までどおりにしているつもりでも、どこか意識して、それが今までどおりか自分でも分からなくなりそう。
(不明/30歳代/不明)
- ・親、兄弟はできる。夫の場合はわからない。
(女性/50歳代/中区)

家族からカミングアウトされた場合について、いままでどおり接することが「できる」との回答が47.7%、「できない」との回答が6.7%となっている。また、「わからない」との回答が40.5%と高くなっている。

(%)

		回答者数 (人)	できる	できない	その他	わからない	無回答
全体		1089	47.7	6.7	3.8	40.5	1.4
性別	男性	411	47.0	8.5	2.2	41.1	1.2
	女性	636	49.1	5.7	4.7	39.8	0.8
	その他	4	50.0	-	25.0	-	25.0
	無回答	38	31.6	5.3	2.6	50.0	10.5
	10歳代	11	72.7	-	-	27.3	-
年齢別	20歳代	69	69.6	2.9	4.3	23.2	-
	30歳代	138	56.5	2.2	7.2	34.1	-
	40歳代	195	56.4	3.1	3.6	36.9	-
	50歳代	190	52.1	3.2	4.7	38.9	1.1
	60歳代	216	48.6	8.8	3.2	38.0	1.4
	70歳代	169	30.8	11.8	2.4	53.8	1.2
	80歳代以上	80	18.8	20.0	1.3	53.8	6.3
	無回答	21	19.0	4.8	-	61.9	14.3
	居住区別	北区	459	46.8	7.6	2.8	41.6
中区		236	51.7	5.5	4.2	37.7	0.8
東区		150	45.3	7.3	5.3	39.3	2.7
南区		209	49.8	5.7	4.3	39.7	0.5
無回答		35	28.6	5.7	2.9	54.3	8.6

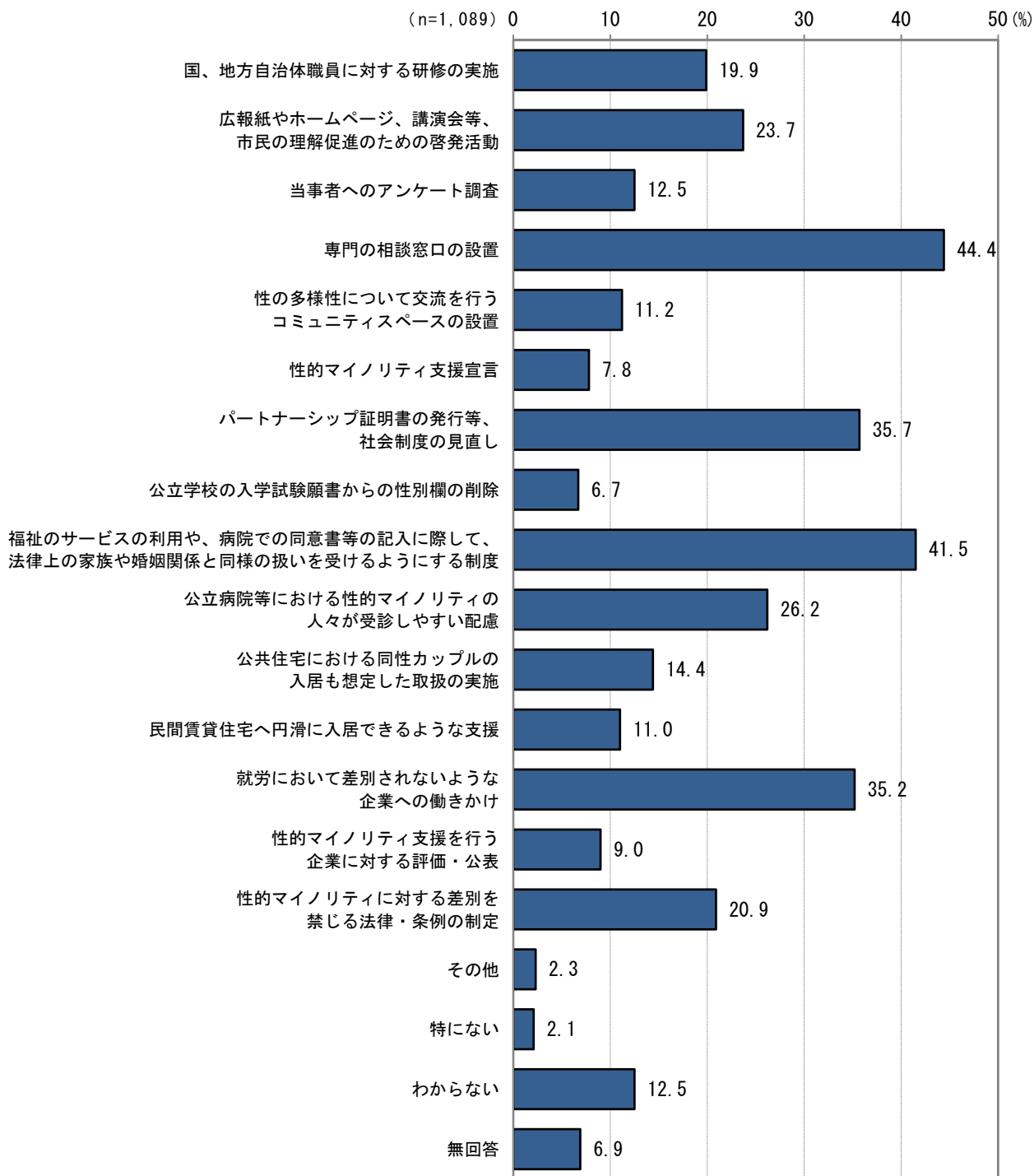
性別にみると、大きな差はみられない。

年齢別にみると、「できる」との回答は20歳代で約7割と高く、年齢が上がるにつれて低くなっている。

居住区別にみると、大きな差はみられない。

4 課題解決に必要なこと

問9 性的マイノリティ当事者に対する国・地方自治体の対策として、特に何が必要だと思いますか？（○は5つまで）



〈主なその他の回答〉

- ・相談窓口をつくれれば良いというものではない。わかった人が相談にのり親身になってくれる人がいなければ・・・すべてに○をしたい。(女性/60歳代/南区)
- ・どれくらいの人がいるのかわからないので、あえて支援が必要なのかわからない。(男性/40歳代/中区)

- ・対策の優先度が高いとは感じない。(男性/40歳代/東区)
- ・公的医療機関が発行するマイノリティ証明書のようなもの(男性/50歳代/中区)
- ・必要ない。それは性的マイノリティというだけのことだから。どうして自治体の対策があるのか、私のほうが聞きたい。(女性/70歳代/中区)
- ・特に必要ではないと思う。LGBとTは分けるべき。(女性/40歳代/北区)

国・地方自治体の対策として必要だと思うことについて、「専門の相談窓口の設置」との回答が44.4%と最も高く、次いで「福祉のサービスの利用や、病院での同意書等の記入に際して、法律上の家族や婚姻関係と同様の扱いを受けるようにする制度」(41.5%)、「パートナーシップ証明書の発行等、社会制度の見直し」(35.7%)、「就労において差別されないような企業への働きかけ」(35.2%)などの順となっている。

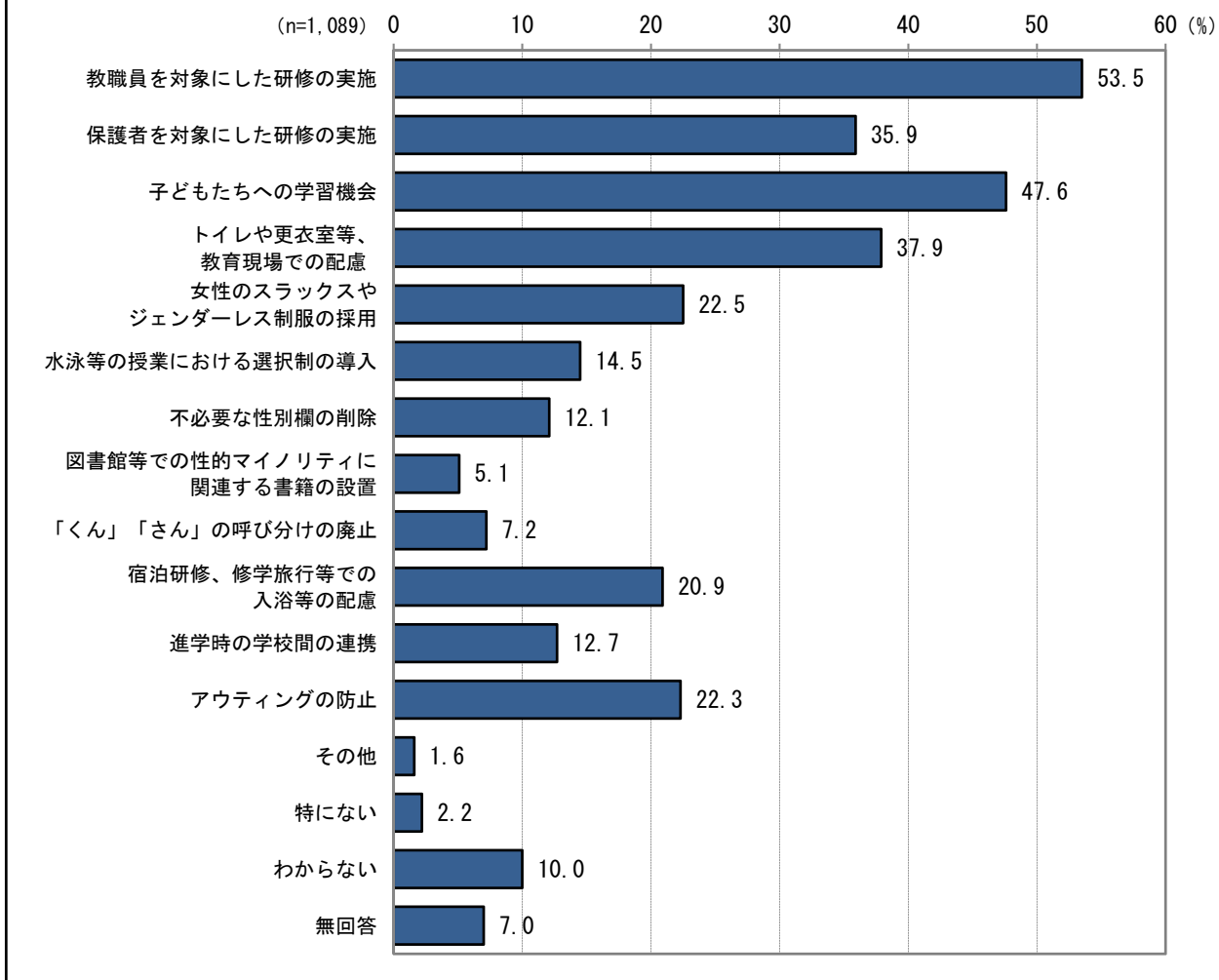
	回答者数 (人)	国、地方自治体職員に 対する研修の実施	広報紙やホームページ、 講演会等、市民の啓発 活動	当事者へのアンケート 調査	専門の相談窓口の設置	性の多様性について交 流を行うコミュニティ スペースの設置	性的マイノリティ支援 宣言	パートナーシップ証明 書の発行等、社会制度 の見直し	公立学校の入学試験願 書からの性別欄の削除	福祉のサービスの利用や、 病院での同意書等の記入に 際して、法律上の家族や婚 姻関係と同様の扱いを受け るようにする制度	公立病院等における性 的マイノリティの人々 が受診しやすい配慮	
全体	1089	19.9	23.7	12.5	44.4	11.2	7.8	35.7	6.7	41.5	26.2	
性別	男性	411	19.2	30.2	13.4	43.1	13.1	8.0	32.6	4.6	33.3	23.8
	女性	636	20.3	20.3	12.4	45.3	10.5	7.5	37.9	7.9	47.3	28.0
	その他	4	-	-	25.0	-	-	50.0	75.0	50.0	50.0	25.0
	無回答	38	23.7	13.2	2.6	47.4	2.6	5.3	28.9	5.3	31.6	21.1
年齢別	10歳代	11	27.3	27.3	18.2	36.4	36.4	9.1	54.5	18.2	36.4	27.3
	20歳代	69	8.7	13.0	8.7	46.4	15.9	13.0	47.8	7.2	53.6	26.1
	30歳代	138	15.2	24.6	18.8	38.4	10.1	14.5	52.9	8.0	46.4	29.0
	40歳代	195	17.9	23.1	16.4	42.1	12.8	9.7	39.5	5.1	38.5	21.5
	50歳代	190	21.6	21.6	12.6	45.3	12.1	6.3	43.2	6.8	48.9	28.9
	60歳代	216	22.7	28.2	7.9	50.9	10.6	5.6	36.1	6.0	47.2	28.7
	70歳代	169	26.0	29.0	13.6	48.5	9.5	5.3	16.6	7.7	34.9	29.6
	80歳代以上	80	17.5	15.0	7.5	33.8	6.3	1.3	7.5	6.3	16.3	16.3
	無回答	21	19.0	19.0	-	33.3	4.8	9.5	28.6	4.8	23.8	9.5
居住区別	北区	459	20.0	23.7	13.5	44.9	10.7	8.1	35.9	7.2	43.4	27.9
	中区	236	18.2	23.7	13.1	41.5	10.6	6.8	39.8	3.8	43.6	23.3
	東区	150	18.7	27.3	13.3	47.3	16.7	9.3	34.7	9.3	37.3	29.3
	南区	209	23.4	23.0	10.0	43.5	10.5	7.7	34.0	7.2	40.2	24.4
	無回答	35	14.3	11.4	5.7	48.6	2.9	5.7	20.0	5.7	28.6	20.0
	回答者数 (人)	しか公 たッ共 取ッ住 扱プル の宅の 実入居 施も も居 同 定性	入民 居間 賃賃 で可 き取 か扱 い撥 けの よ うな 企 業 へ の 働 き か け	き就 かい け よ う な い て 差 別 さ れ ない よう な 企 業 へ の 働 き か け	価を ・行 ・公 表公 表司 表業 表に 表対 表す 表支 表援 表評	律的 ・差 ・別 ・例 ・を ・制 ・定 ・禁 ・止 ・す ・る ・法 ・に ・対 ・し ・て	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答		
全体	1089	14.4	11.0	35.2	9.0	20.9	2.3	2.1	12.5	6.9		
性別	男性	411	14.6	10.5	27.5	9.7	21.7	2.4	10.7	6.8		
	女性	636	14.3	11.0	40.6	8.8	21.2	2.2	10.7	6.4		
	その他	4	50.0	25.0	25.0	25.0	-	25.0	-	25.0		
	無回答	38	10.5	15.8	28.9	2.6	10.5	-	2.6	21.1	13.2	
年齢別	10歳代	11	18.2	-	45.5	9.1	27.3	-	-	-		
	20歳代	69	24.6	11.6	36.2	17.4	27.5	1.4	-	5.8	4.3	
	30歳代	138	21.7	14.5	34.1	12.3	21.0	2.9	1.4	9.4	2.2	
	40歳代	195	14.4	11.8	29.2	9.7	25.1	3.6	2.1	11.8	3.6	
	50歳代	190	13.2	12.6	40.0	9.5	20.5	3.2	1.6	8.9	3.7	
	60歳代	216	14.4	10.6	42.1	10.6	22.2	1.9	0.9	10.2	6.0	
	70歳代	169	10.7	7.1	33.1	2.4	18.9	0.6	4.1	17.8	11.2	
	80歳代以上	80	5.0	8.8	23.8	3.8	11.3	2.5	6.3	26.3	25.0	
	無回答	21	9.5	14.3	33.3	4.8	-	-	-	28.6	14.3	
居住区別	北区	459	13.7	11.3	37.5	9.2	20.9	2.0	1.7	11.8	6.3	
	中区	236	15.3	11.0	32.2	8.5	22.0	3.0	3.0	12.7	6.4	
	東区	150	16.7	12.7	33.3	13.3	21.3	2.7	3.3	11.3	6.7	
	南区	209	14.8	8.6	33.5	6.2	21.5	2.4	1.4	13.4	8.6	
	無回答	35	5.7	14.3	42.9	8.6	8.6	-	-	20.0	8.6	

性別にみると、「広報紙やホームページ、講演会等、市民の理解促進のための啓発活動」との回答は男性（30.2%）が女性（20.3%）を9.9ポイント、「福祉のサービスの利用や、病院での同意書等の記入に際して、法律上の家族や婚姻関係と同様の扱いを受けるようにする制度」との回答は女性（47.3%）が男性（33.3%）を14ポイント、「就労において差別されないような企業への働きかけ」との回答は女性（40.6%）が男性（27.5%）を13.1ポイント上回っている。

年齢別にみると、「パートナーシップ証明書の発行等、社会制度の見直し」との回答は30歳代で5割台半ば、20歳代と50歳代で4割台半ばと高くなっている。また、「公立学校の入学試験願書からの性別欄の削除」との回答は20歳代で約2割と高くなっている。

居住区別にみると、大きな差はみられない。

問 10 学校における取組として、特に何が必要だと思いますか？（○は4つまで）



<主なその他の回答>

- ・すべてに○をしたい。(女性/60歳代/南区)
- ・「人」として接する事の重要視。性別を重視する必要はない。(女性/50歳代/北区)
- ・特別視する必要を感じない。(男性/50歳代/南区)
- ・オープンにすることで変わらない状況をつくる。いじめ対応で決めたことでも守られていない現状 (男性/60歳代/中区)
- ・集団生活にマイノリティを中心とした取組が重視されすぎることはバランスが悪い。
(男性/40歳代/東区)
- ・小学校での研修・学習を増やす事が、周囲への認知度のスピードは上がる気がする。
(女性/40歳代/南区)

学校における取組として必要だと思うことについて、「教職員を対象にした研修の実施」が53.5%と最も高く、次いで「子どもたちへの学習機会」(47.6%)、「トイレや更衣室等、教育現場での配慮」(37.9%)、「保護者を対象にした研修の実施」(35.9%)などの順となっている。

(%)

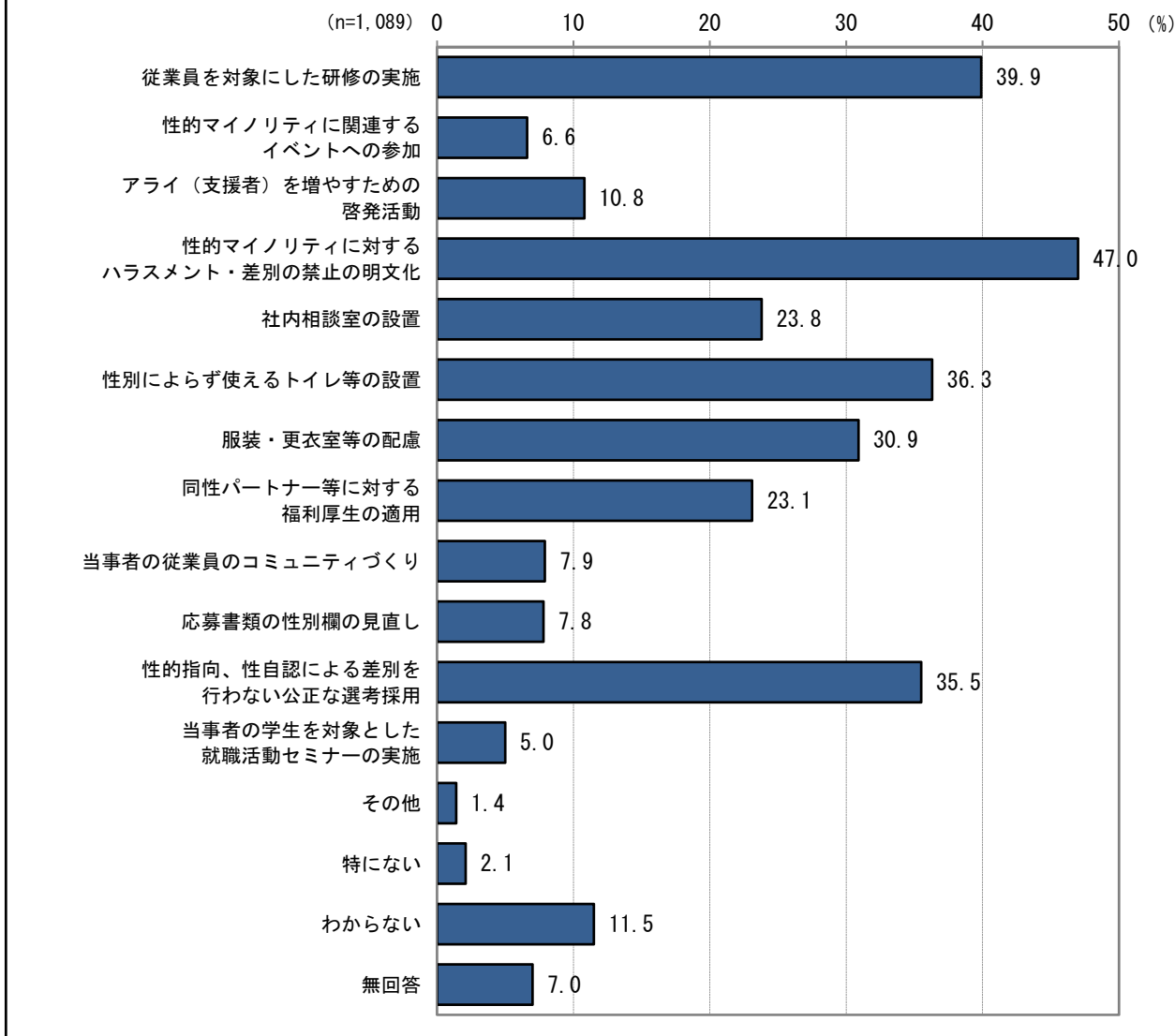
	回答者数 (人)	教職員を対象にした 研修の実施	保護者を対象にした 研修の実施	子どもたちへの学習 機会	トイレや更衣室等、 教育現場での配慮	女性のスラックスや ジェンダーレス制服 の採用	水泳等の授業におけ る選択制の導入	不必要な性別欄の削 除	図書館等での性的マ スコミの設置	
全体	1089	53.5	35.9	47.6	37.9	22.5	14.5	12.1	5.1	
性別	男性	411	54.0	40.4	44.8	34.3	16.3	11.4	12.7	4.4
	女性	636	53.6	32.7	49.8	41.4	26.9	16.5	11.3	5.3
	その他	4	50.0	50.0	50.0	25.0	75.0	25.0	50.0	25.0
	無回答	38	47.4	39.5	39.5	21.1	10.5	13.2	15.8	5.3
年齢別	10歳代	11	36.4	18.2	81.8	36.4	27.3	18.2	18.2	-
	20歳代	69	55.1	36.2	52.2	36.2	29.0	7.2	13.0	7.2
	30歳代	138	47.8	37.7	63.0	41.3	35.5	29.7	11.6	8.0
	40歳代	195	48.7	34.9	54.9	35.4	23.1	16.9	9.2	4.1
	50歳代	190	57.4	42.1	50.0	44.2	28.4	15.3	12.6	4.7
	60歳代	216	61.6	38.4	44.0	40.3	23.1	11.1	15.7	4.6
	70歳代	169	56.2	30.8	39.1	36.7	9.5	9.5	14.2	4.7
	80歳代以上	80	42.5	25.0	17.5	26.3	6.3	7.5	6.3	3.8
	無回答	21	42.9	42.9	42.9	19.0	14.3	9.5	-	4.8
居住区別	北区	459	52.3	35.3	48.8	39.4	22.9	12.0	13.1	5.2
	中区	236	50.8	33.5	51.3	36.9	25.0	15.3	11.0	6.8
	東区	150	54.0	35.3	48.7	42.0	22.0	18.7	13.3	4.0
	南区	209	59.8	40.2	41.1	34.9	20.1	15.8	11.5	2.9
	無回答	35	48.6	37.1	40.0	25.7	17.1	17.1	5.7	8.6
	回答者数 (人)	呼び分けの 「くん」「さん」 の廃止	宿泊研修、修学旅行 等の配慮	進学時の学校間の連 携	アウトティングの防 止	その他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答	
全体	1089	7.2	20.9	12.7	22.3	1.6	2.2	10.0	7.0	
性別	男性	411	4.9	16.5	10.2	20.4	1.7	3.6	12.2	7.1
	女性	636	8.6	23.6	14.6	23.1	1.4	1.3	8.0	6.6
	その他	4	50.0	50.0	25.0	25.0	-	-	-	25.0
	無回答	38	2.6	21.1	5.3	28.9	2.6	2.6	21.1	10.5
年齢別	10歳代	11	9.1	63.6	-	9.1	-	-	-	-
	20歳代	69	10.1	21.7	11.6	29.0	1.4	1.4	8.7	4.3
	30歳代	138	9.4	26.8	12.3	26.8	-	0.7	2.2	2.9
	40歳代	195	6.2	19.0	14.9	30.8	3.1	1.0	9.2	3.1
	50歳代	190	7.4	23.2	12.1	25.8	2.6	1.1	6.3	4.2
	60歳代	216	6.0	19.0	16.2	19.9	1.4	1.9	9.3	6.0
	70歳代	169	7.7	17.8	8.9	12.4	1.2	5.3	17.2	11.2
	80歳代以上	80	6.3	17.5	11.3	10.0	-	5.0	20.0	25.0
無回答	21	-	14.3	9.5	19.0	-	4.8	23.8	14.3	
居住区別	北区	459	5.9	22.0	12.4	25.9	1.3	2.6	9.4	6.1
	中区	236	8.9	19.9	11.4	22.9	2.1	3.0	9.7	6.4
	東区	150	9.3	20.0	14.0	20.0	0.7	1.3	8.7	8.0
	南区	209	7.2	18.7	13.9	13.9	2.4	1.4	11.5	8.6
	無回答	35	2.9	31.4	11.4	31.4	-	-	17.1	8.6

性別にみると、「女性のスラックスやジェンダーレス制服の採用」との回答は女性（26.9%）が男性（16.3%）を10.6ポイント上回っている。

年齢別にみると、「子どもたちへの学習機会」との回答は30歳代が6割超、「水泳等の授業における選択制の導入」との回答は30歳代が約3割と高くなっている。

居住区別にみると、「アウトティングの防止」との回答は南区で1割台半ばと低くなっている。

問 11 企業における取組として、特に何が必要だと思いますか？（○は4つまで）



<主なその他の回答>

- ・ 1人の人間として見れば、何の問題もない。（女性/50歳代/北区）
- ・ 企業として性的マイノリティを受け入れる姿勢を示すこと。また、差別を行う従業員を指導することなども必要。（女性/20歳代/北区）
- ・ まずは、経営者や幹部の方が完全に理解して、受け入れないといけない。そうしないと変わらない。（女性/60歳代/南区）
- ・ 特別扱いする必要なし。（女性/40歳代/北区）
- ・ 性的マイノリティを認める就業規則の制定（男性/40歳代/中区）

企業における取組として必要だと思うことについて、「性的マイノリティに対するハラスメント・差別の禁止の明文化」との回答が47.0%と最も高く、次いで「従業員を対象にした研修の実施」（39.9%）、「性別によらず使えるトイレ等の設置」（36.3%）、「性的指向、性自認による差別を行わない公正な選考採用」（35.5%）などの順となっている。

	回答者数 (人)	従業員を対象にした 研修の実施	性的マイノリティへの 参加	増やしたための啓発活 動	アライトイレ等の明 文化	性的マイノリティに 対するハラスメントの 禁止	社内相談室の設置	性別によらず使える トイレ等の設置	服装・更衣室等の配 慮	同性パートナー等に対 する福利厚生等の適 用
全体	1089	39.9	6.6	10.8	47.0	23.8	36.3	30.9	23.1	
性別	男性	411	43.1	7.1	13.1	44.3	26.5	26.5	24.3	20.0
	女性	636	39.0	6.6	9.6	49.5	22.5	42.5	35.5	25.3
	その他	4	25.0	-	25.0	-	-	75.0	50.0	25.0
	無回答	38	23.7	2.6	5.3	39.5	18.4	34.2	23.7	21.1
年齢別	10歳代	11	36.4	27.3	18.2	45.5	27.3	45.5	54.5	9.1
	20歳代	69	42.0	7.2	10.1	49.3	20.3	30.4	27.5	34.8
	30歳代	138	34.1	8.0	13.0	49.3	19.6	52.2	51.4	33.3
	40歳代	195	39.0	5.6	10.3	50.8	18.5	32.3	40.0	24.6
	50歳代	190	46.8	8.4	11.1	55.3	25.8	38.9	32.6	23.7
	60歳代	216	41.2	5.1	12.5	51.9	29.2	38.9	23.6	24.5
	70歳代	169	42.0	7.1	9.5	40.2	27.2	32.5	23.1	13.6
	80歳代以上	80	27.5	2.5	6.3	18.8	21.3	17.5	8.8	10.0
	無回答	21	38.1	4.8	9.5	28.6	19.0	33.3	19.0	19.0
居住区別	北区	459	38.8	6.1	10.5	47.5	23.7	38.6	32.9	23.5
	中区	236	42.4	6.4	11.0	48.3	26.3	33.1	30.9	25.0
	東区	150	42.0	10.0	8.7	46.7	27.3	34.0	33.3	15.3
	南区	209	40.2	5.7	13.4	46.4	18.2	36.8	24.9	25.8
	無回答	35	28.6	5.7	8.6	37.1	25.7	34.3	31.4	22.9
	回答者数 (人)	当事者の従業員のコ ミュニティづくり	応募書類の性別欄の 見直し	性的指向、性自認に よる公正な選考採用	当事者の学生を対象 とした就職活動セミ ナーの実施	その他	特にな い	わか らな い	無 回 答	
全体	1089	7.9	7.8	35.5	5.0	1.4	2.1	11.5	7.0	
性別	男性	411	10.0	6.8	29.2	5.1	1.5	3.2	13.4	7.5
	女性	636	6.3	8.0	40.3	4.4	1.3	1.3	9.9	6.3
	その他	4	-	50.0	25.0	50.0	25.0	-	-	25.0
	無回答	38	13.2	10.5	26.3	7.9	-	5.3	18.4	10.5
年齢別	10歳代	11	9.1	18.2	27.3	9.1	-	-	-	-
	20歳代	69	13.0	11.6	49.3	13.0	1.4	-	7.2	2.9
	30歳代	138	4.3	9.4	39.9	4.3	0.7	0.7	6.5	2.2
	40歳代	195	7.7	8.7	37.4	2.6	2.1	1.0	10.8	3.1
	50歳代	190	10.5	6.8	37.4	5.8	2.6	1.6	7.9	3.7
	60歳代	216	7.9	5.1	44.0	6.0	1.4	0.9	8.3	6.9
	70歳代	169	5.9	5.3	24.3	2.4	0.6	5.9	17.8	11.2
	80歳代以上	80	8.8	13.8	13.8	6.3	-	5.0	27.5	26.3
	無回答	21	4.8	4.8	19.0	-	-	4.8	23.8	14.3
居住区別	北区	459	7.2	7.8	41.2	5.2	1.3	2.8	9.6	6.1
	中区	236	5.1	8.1	30.5	4.2	1.3	2.5	13.6	6.4
	東区	150	13.3	8.7	29.3	5.3	0.7	1.3	10.0	8.0
	南区	209	8.6	6.7	34.9	4.8	1.9	1.0	12.9	8.6
	無回答	35	8.6	8.6	25.7	5.7	2.9	-	20.0	8.6

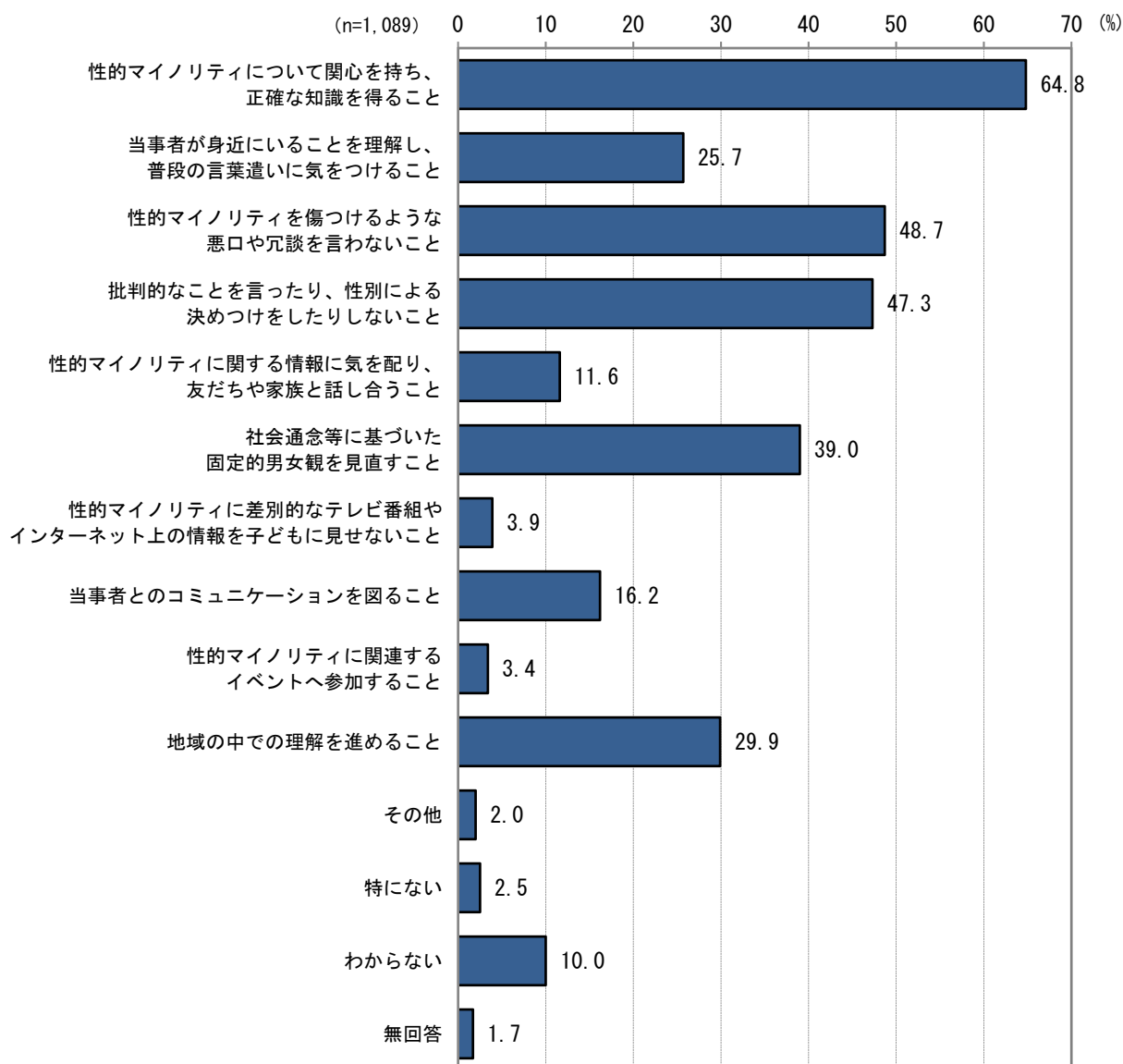
性別にみると、「性別によらず使えるトイレ等の設置」との回答は女性（42.5%）が男性（26.5%）を16.0ポイント、「服装・更衣室等の配慮」との回答は女性（35.5%）が男性（24.3%）を11.2ポイント、「性的指向、性自認による差別を行わない公正な選考採用」との回答は女性（40.3%）が男性（29.2%）を11.1ポイント上回っている。

年齢別にみると、「性別によらず使えるトイレ等の設置」、「服装・更衣室等の配慮」との回答は30歳代で5割超と高くなっている。

居住区別にみると、「同性パートナー等に対する福利厚生等の適用」との回答は東区で1割台半ばと低くなっている。

問 12 市民に求められることとして、特に何が重要だと思いますか？

(○は4つまで)



<主なその他の回答>

- ・特別なことではないという認識に立っての行動を常にもつ。(男性/60歳代/中区)
- ・別に男だから女だからという意識を持っていないから自分の特技を生かせる人生を送ってほしい。※ただ心配なのは子どもが生まれないと人口が減る。心配だ。
(女性/60歳代/南区)
- ・性的マイノリティの人がいるのが当たりまえという考えを持ち、カミングアウトしやすい環境を小さいころからつくるべき。(女性/20歳代/南区)
- ・Tに関しては、理解を深める事が大事。LGBに関しては、ただの趣味なので必要なし。(女性/40歳代/北区)
- ・知識を持つことは必要ですが、あくまで個人の考えを尊重すべき。
(女性/60歳代/北区)
- ・市民に求められることとはどういう事ですか。こんなことがなんで必要なのか不可解きわまります。(女性/70歳代/中区)

市民に求められることとして必要だと思うことについて、「性的マイノリティについて関心を持ち、正確な知識を得ること」との回答が64.8%と最も高く、次いで「性的マイノリティを傷つけるような悪口や冗談を言わないこと」(48.7%)、「批判的なことを言ったり、性別による決めつけをしたりしないこと」(47.3%)、「社会通念等に基づいた固定的男女観を見直すこと」(39.0%)などの順となっている。

(%)

		回答者数 (人)	と正確な知識を得るこ	ついて関心を持ち、性的マイノリティに	けること	この言葉を解し、普段	とや冗談を言わないこ	傷つけるような悪口	性的マイノリティを	いめつけをしたりしな	批判的なことを言っ	話し合うこと	り、友だちや家族と	関する情報に気を配	性的マイノリティに	た固定的男女観を見	社会通念等に基づい	と子どもに見せないこ	別のマイノリティに差	性的マイノリティに差
全体		1089	64.8	25.7	48.7	47.3	11.6	39.0	3.9											
性別	男性	411	64.7	27.5	48.4	41.8	10.9	34.8	4.1											
	女性	636	66.0	25.5	50.0	52.5	11.9	42.8	3.9											
	その他	4	50.0	25.0	75.0	50.0	25.0	50.0	-											
	無回答	38	47.4	10.5	26.3	18.4	10.5	21.1	2.6											
年齢別	10歳代	11	63.6	36.4	81.8	63.6	-	36.4	-											
	20歳代	69	60.9	29.0	55.1	62.3	14.5	40.6	4.3											
	30歳代	138	71.0	25.4	47.8	52.9	13.0	38.4	3.6											
	40歳代	195	65.1	23.6	47.2	47.2	12.8	32.8	2.1											
	50歳代	190	67.9	26.3	45.3	44.7	11.6	47.4	6.3											
	60歳代	216	73.6	27.8	50.5	55.6	15.7	45.8	1.9											
	70歳代	169	59.2	26.0	53.8	38.5	8.9	34.3	4.1											
	80歳代以上	80	48.8	23.8	45.0	32.5	1.3	31.3	10.0											
	無回答	21	23.8	9.5	14.3	19.0	4.8	19.0	-											
居住区別	北区	459	66.7	26.6	47.5	49.9	12.4	38.8	3.3											
	中区	236	65.3	23.7	49.2	45.8	11.9	42.4	3.4											
	東区	150	66.7	30.0	54.7	47.3	11.3	36.7	4.0											
	南区	209	64.6	23.4	48.8	45.0	9.6	40.7	6.2											
	無回答	35	31.4	22.9	34.3	37.1	11.4	20.0	2.9											
		回答者数 (人)	とケ―事業者とのコミュニケーション	参加するマイノリティへ	進め地域の理解を	その他	特にな	わからない	無回答											
全体		1089	16.2	3.4	29.9	2.0	2.5	10.0	1.7											
性別	男性	411	17.0	3.9	23.8	1.9	3.2	14.1	0.5											
	女性	636	16.5	3.0	34.4	1.9	2.0	6.9	0.6											
	その他	4	-	-	50.0	25.0	-	-	25.0											
	無回答	38	2.6	5.3	18.4	2.6	2.6	18.4	31.6											
年齢別	10歳代	11	18.2	-	18.2	-	-	-	-											
	20歳代	69	20.3	1.4	29.0	2.9	2.9	4.3	-											
	30歳代	138	18.1	4.3	34.8	0.7	0.7	6.5	-											
	40歳代	195	17.4	2.1	32.8	4.1	2.1	8.2	1.0											
	50歳代	190	19.5	2.1	35.3	2.1	1.6	7.4	1.1											
	60歳代	216	15.3	5.1	26.9	1.4	1.4	7.4	0.5											
	70歳代	169	13.0	3.0	26.0	0.6	5.3	16.6	0.6											
	80歳代以上	80	11.3	7.5	26.3	2.5	5.0	26.3	2.5											
	無回答	21	-	-	9.5	4.8	4.8	9.5	52.4											
居住区別	北区	459	16.6	2.6	31.8	1.7	2.4	9.2	1.1											
	中区	236	14.0	4.2	30.1	2.5	3.0	9.7	0.4											
	東区	150	20.7	3.3	31.3	0.7	2.7	9.3	0.7											
	南区	209	16.3	4.3	26.8	2.9	1.9	12.4	0.5											
	無回答	35	5.7	2.9	17.1	2.9	2.9	11.4	31.4											

性別にみると、「批判的なことを言ったり、性別による決めつけをしたりしないこと」の回答は女性（52.5%）が男性（41.8%）を10.7ポイント、「地域の中での理解を進めること」の回答は女性（34.4%）が男性（23.8%）を10.6ポイント上回っている。

年齢別にみると、「批判的なことを言ったり、性別による決めつけをしたりしないこと」の回答は20歳代で6割超、60歳代で5割台半ばと高くなっている。

居住区別にみると、「性的マイノリティを傷つけるような悪口や冗談を言わないこと」の回答は東区で5割台半ばと高くなっている。

その他の自由意見

<教育・啓発>

- まずは、性的マイノリティについて、正確な知識を私たち1人1人がもつことが大切だと思う。その正しい理解が得られる場がほしい。次に私たちがすべきことは、その得た知識を周りの人たちに、特に子どもたちに伝え、性の多様化をだれもが柔軟に受けとめ、だれもが差別されることなく生活できる社会づくりをしていかなければならないと思う。無知による偏見はあってはならない。(女性/40歳代/中区)
- 特別視しないでほしい。少しだけ想像力を働かせて、同じ人間として何を言われたら、されたら悲しいのか、それだけ考えられる人が少しでも増えたら素敵だと思う。性的マイノリティに限らず、自然と人が人を思いやれるような環境が整うといいと思う。やはり教育??(女性/20歳代/北区)
- 性別に限らずマイノリティに対しては、偏った見方や思い込み、それに伴う差別意識が何かしら持つてしまうと思う。学習や啓発活動は大事かと思うが、やはり、実際にLGBTの方との対話や交流による意識変革が大切なことなのではないかと考える。(LGBT本人の人がカミングアウトすることはなかなか難しいと思うが…)
(男性/50歳代/東区)
- 中学生、高校生は周りに性的マイノリティの友人がいると分かるとからかったり、いじめに発展すると思う。そのとき、保護者にも教師にも言えず悩んでいるのではないかと思う。両親にも言い出せず一人で抱え込まないように、気軽にネットを利用して相談できる場があるなら、しっかり知らせてあげてほしい。小学生は特に自分が当事者とも思わず、周りとは何かずれていると感じる程度でしっかりと知識がないのでは?教育現場で働く者として、こうしたことからいじめに発展しないよう周りのサポートをしっかりしてあげてほしいと思う。(女性/30歳代/南区)
- 子どもへの教育が大切だと思う。子どもの時に学ぶ機会がなければ大人になってからはなかなか受け入れづらい。子どもの頃からそういう人もいることを知っておくだけでも違ってくると思う。さらに市民の知識・理解を得られるような啓発活動をしていけば、その場その場での具体的な支援につながりやすく、結果として社会全体に広がっていくと思う。(女性/30歳代/北区)
- 性同一性障害の方が周りにいる。何の問題もなく受け入れた事にとっても驚かれた。「障害」と付く診断を受けていても偏見の多さに逆に驚く。マスコミの力でもっと理解を広げるべき。障害と認めているのにホルモン注射の保険がきかない矛盾。私自身、性同一性障害以外の性的マイノリティの理解は薄いので、勉強したいと思う。積極的にその場を設けて欲しい。(女性/40歳代/南区)

その他の自由意見

<社会・法律・環境の整備>

- ただ居るだけで、危害を加えてくるわけでもないのだから、わざわざ攻撃する必要もないのに。同性婚についても、認めたことで誰かが不利益を被るわけでもないと思う。なぜ認められないのか不明（男性/30歳代/中区）
- 同性婚を早く認めるべき。なぜ同性で結婚してはいけないのか理解できない。
（男性/20歳代/中区）
- 多目的トイレをふやしてほしい。学校の制服とか男女をとわず、本人がスカートかズボンか選べるようにしたらいいと思う。（女性/70歳代/北区）
- まずは、法制度の整備だと思うが、そのためにしっかりと当事者達からの意見・聞き取りが必要でしょう。（男性/40歳代/北区）

<戸惑い>

- 正直な話、性的マイノリティ当事者でないから、当事者が困っていることや必要としていることはさっぱりわからない。だから、自分の意見としては、性的マイノリティに対して「そうですか」と受け入れるしかないと考える。行政等の大きな目でみると異なるかもしれないが、個人間等の小さな目でみると、ただそれだけの話のような気はする。（男性/20歳代/北区）
- 以前に比べると性的マイノリティについての話題や人にメディアを通じて接する機会が増えたと思う。その一方、身近な社会の中にいる当事者の存在をあまり感じたことがない。おられるのか、おられないのか、分からない。シスジェンダーが当たり前のコミュニティーの中で、周囲の誰にも相談できずに苦しんでおられる方がいるとしたら、どのように私は行動すればいいのだろうと考えてしまう。
（女性/60歳代/北区）
- 実際に我々老人には理解できないのが現状だ。（男性/60歳代/北区）
- 性的マイノリティについて今までまったく関心がなく、今回アンケートが来てこういう活動をしていることを初めて知った。（女性/60歳代/北区）
- 当事者の責任でない事は否定しない。でも個人としては理解できない。
（女性/60歳代/中区）

その他の自由意見

<実際・実態>

○家族に性的マイノリティがいる。もっと早く受け入れてあげられる事が出来たら本人もきっと楽だったろう、と思う。それなりの知識が無かった事でつらくあつた事もあつた。もっとメディアにとりあげてもらっても良いと思う。

(女性/50歳代/北区)

○ゲイの友人からいろいろ話をきいて、将来に対する不安や法的な拘束力の無さから、パートナーとの関係の長期的な継続の難しさを聞いている。トランスジェンダーと知らずに幼い頃遊んでいた幼なじみがいる。小さい頃一緒におままごととか人形遊びが、とてもいやだった事(スカートの制服も)を聞いて驚いた。幼い子どもがSOSを出しやすく、受け止める環境の必要性を感じた。(女性/40歳代/北区)

<願い>

○自分の周りにはまったく聞かない問題なので考えたこともないが。どんな状態の人も、千差万別。認め合う事が重要だとは、信じている。(男性/60歳代/中区)

○当事者以外が騒ぐ事ではないと思う。好奇の目で見るべきではない。

(女性/40歳代/東区)

○私たちの年代は、まだ男らしく女らしくがよいとされていたので、今は人間として良い悪いと考えるように努力している。20代の娘達は、私たちに比べ、全くといっていいほど偏見がないので、世の中はだんだん変わっていくと思う。

(女性/50歳代/北区)

○人のことを好きになる気持ちとか自分の性については、だれからどう言われようと本人の自由。好きなものは好きなのだから認めるべきである。自分の心は自分のもの。正直に話してもまわりに気をつかうことなく過ごせるようになってほしい。心は自由(女性/60歳代/北区)

○私は普通にカミングアウトして生活している。聞かれたらこたえる。子の性で悩んでいる方の相談にのったりも。当事者でも自分がどれなのか分かってない人もいっぱいいる。自分の中で自分が普通なので「私、普通じゃないんだ。」と悩むのをやめた。“理解しよう”なんていうのは上から目線で嫌。特別な人じゃないので。個人差、個性として当たりまえに思える世の中になってほしい。(その他/30歳代/北区)

○私の娘のパートナーが女性。3年間の遠距離でのお付き合いを経て、この春から同居している。お互い支え合って生活しており、親として応援せずにはいられない。カミングアウトしづらい環境だが明るく生きている。誰にでもオープンにできる社会になる事を望んでいる。(男性/40歳代/南区)

○本人が苦しんでいる性の悩みを受け止めてあげられ、生活や仕事での活躍の場が増えたらいいと思う。(女性/60歳代/東区)

○テレビにLGBTの人たちが、イジられる対象としてではなく、LGBT以外の人たちと同等に専門家として職人として、芸人として、アーティストとして、たくさん出てほしい。性以外の話題で正当に扱われることで、LGBTが普通に認められてほしい。(女性/60歳代/北区)

<その他>

○個人の生き方は自由、本人の責任で好きにすればいい。本人の価値感を他人に押し付けてはいけない。少数意見を聞き過ぎると、よけいに差別が進む。今以上に住みにくい世の中になると思う。(男性/50歳代/南区)

○本人の問題でしょう。必要以上に行政が対応しなくても良いのではないかと自分は差別するつもりは無い。(男性/50歳代/北区)

○全く関心がなく程遠い問題なので回答のしようがない。(男性/80歳代/東区)

○身近に性的マイノリティの方がいないので彼らが何を求めているのか、話をした事がないのでわからない。ただ、彼らも同じ人間なので差別する必要はないと思っている。彼らが困っている事、求める事は、彼らにしかわからないと思うので、1人でも多くの性的マイノリティの方に話を聞いてあげれば良いと思う。

(女性/40歳代/北区)

○1人1人の人生を前向きに、その人らしく生きて欲しいから、多様な考えがある事を回りの人も理解してあげる努力が必要と思う。(女性/60歳代/中区)

○二者択一的な発想ではなく、多様性を認め理解する事。(男性/60歳代/東区)

IV まとめ

1 本市における性的マイノリティの現状

あなたは、性的マイノリティの当事者だと思うかの【問1】では、1.1%の人が当事者であると回答している。その中で「好きになる性が少数派」と回答した人（レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル）の割合は58.3%、「『こころ』と『からだ』の性が一致していないことがある」と回答した人（トランスジェンダー）の割合は41.7%であった。また、当事者かどうかわからないとの回答も2.7%あった。

自分の周りの性的マイノリティの当事者の有無についての【問2】では、「いる」と回答した人の割合は12.1%であった。

社会的な関心について高まっているかの【問3】では、「高まっている」と回答した人の割合が6割超となっており、報道やテレビドラマ等、ここ数年のメディアでの取り上げ方が多くなっていることの表れではないかと思われる。

2 当事者の現状

当事者が困っていると思うことの【問4】では、「性的マイノリティに対する差別や偏見があること」との回答が6割台半ばと最も高く、「自分の性を明かせないことで精神的な負担があること」、「性的マイノリティに対する理解が不足していること」との回答が5割台半ばとなっており、性的マイノリティに対する社会の理解不足が当事者を苦しめている原因であると考えている人が多いことが分かる。

性同一性障害の人々の生きづらさについて思うことの【問5】では、「更衣室やトイレが男女別のことが多く入りにくいこと」との回答が約6割、「学校・職場で男女別の制服を着ないといけないこと」との回答が4割超と高く、日常生活における施設や制服の配慮が大切であるとの意見が多い。

性的指向がマイノリティである人の生きづらさについて思うことの【問6】では、「パートナーやその子どもが法的な親族と認められないために、行政等における各種給付やサービス等を受けられないこと」、「同性婚が法的に認められていないこと」との回答が4割台半ばと高く、社会制度の見直しが必要であるとの意見が多い。

3 周囲の対応

同じ学校や職場の人、友人からカミングアウトされた場合について、いままでどおり付き合うことができるかの【問7】では、「できる」との回答は53.4%であった。

「できる」と答えた人の内訳は、女性や年齢が若い人の割合が高くなっている。

一方で、家族からカミングアウトされた場合について、いままでどおり接することができるかの【問8】では、「できる」との回答は47.7%で若干低くなっている。

このことから、家族以外の人からのカミングアウトより、家族からのカミングアウトの方がやや受け止めがたい傾向があることが伺われる。自由意見でも、相当ショックを受ける、戸惑いがあるとの意見が見受けられた。

4 課題解決に必要なこと

国・地方自治体の対策として何が必要だと思うかの【問9】では、「専門の相談窓口の設置」、「福祉のサービスの利用や、病院での同意書等の記入に際して、法律上の家族や婚姻関係と同様の扱いを受けるようにする制度」、「パートナーシップ証明書の発行等、社会制度の見直し」との回答が高くなっており、啓発よりも当事者支援や社会制度の見直しを望む意見が多く、特に若い世代に社会制度の見直しを求める意見が多いことが分かる。

学校における取組として何が必要だと思うかの【問10】では、「教職員を対象にした研修の実施」、「子どもたちへの学習機会」との回答が5割前後と高くなっており、「保護者を対象にした研修の実施」も3割台半ばと高くなっていることから、教職員、保護者への啓発・理解促進と子どもたちの学習が大切であるとの意見が多いことが分かる。一方で、「トイレや更衣室等、教育現場での配慮」との回答も約4割と高く、施設面での当事者支援が望まれていることが分かる。

企業における取組として何が必要だと思うかの【問11】では、「性的マイノリティに対するハラスメント・差別の禁止の明文化」との回答が約5割と最も高く、次いで「従業員を対象にした研修の実施」が約4割、「性的指向、性自認による差別を行わない公正選考採用」が3割台半ばとなっており、社内規定や啓発による差別禁止が必要と意見が多いことが分かる。一方で、「性別によらず使えるトイレ等の設置」が3割台半ば、「服装・更衣室等の配慮」が約3割と当事者支援として施設等の配慮を望む意見も高いことが分かる。

市民に求められることとして何が必要だと思うかの【問12】では、「性的マイノリティについて関心を持ち、正確な知識を得ること」が6割台半ばと最も高く、次いで「性的マイノリティを傷つけるような悪口や冗談を言わないこと」、「批判的なことを言ったり、性別による決めつけをしたりしないこと」が約5割と高いことから、性的マイノリティに対する理解促進が重要であり、また、正しい知識を持つことにより、身近な差別的言動をなくしていくことが大切であるとの意見が多いことが分かる。

V 資料（調査票）

アンケートへのご協力をお願いします。
ぜひ、みなさまの声を聞かせください。

性的マイノリティに関する市民意識調査

令和元年8月

人間は、生まれたときの性別に基づき「男性」と「女性」の2種類に分類されるのが当たり前で、すべての人が異性に魅かれるというように思っていませんか。しかしながら、実際には、人間の性（セクシュアリティ）はたった2つのパターンに分けられるほど単純なものではありません。セクシュアリティは、個人の尊厳に関わる大切な問題であり、誰もが自分のセクシュアリティを尊重され、自分らしく生きることができる社会が望まれます。

こうしたことを踏まえ、性的マイノリティに関する市民の皆様の意識等を把握し、今後の施策を検討する基礎資料とすることを目的に、本調査を実施するものです。

性的マイノリティとは

性のあり方は多様です。その中で少数派に入る人々は性的マイノリティと呼ばれます。

■ 心の性（性自認）

・ 多数派は、「心」と「からだ」の性が一致している（シスジェンダー）

・ 少数派は、「心」と「からだ」の性が一致していない

（トランスジェンダー、性同一性障害※1等）

※1 「心」と「からだ」の性が一致しないと診断された人たち

に対する医学的な疾患・診断名のこと

■ 好きになる性（性的指向）

・ 多数派は、異性を好きになる（異性愛）

・ 少数派は、同性を好きになる（同性愛）

同性も異性も好きになる（両性愛）

どちらも好きにならない（無性愛）など

調査へのご協力のお願い

- ◆ 調査票は、満18歳以上の市民のみなさまの中から、無作為に3,000名の方を選び、お送りしています。
 - ◆ この調査は、無記名でお願いしており、ご回答いただいた内容はすべて統計的に処理します。調査の過程や公表にあたり、個人のお名前や回答内容が外部に漏れるなど、ご迷惑をおかけすることは一切ありません。
 - ◆ この調査は、上記目的以外に使用することはありません。また、個人情報保護など、情報管理には十分留意します。
- 以上、調査の趣旨をご理解の上、あなたのお考えを率直にご回答いただきますようお願い申し上げます。

ご記入にあたってのお願い

- ◆ ご回答は、お送りしたあて名の方ご本人がお答えください。ご本人による回答が困難な場合は、ご家族の方がお答えいただいても結構です。
- ◆ お答えは、選択肢の中から選んで○印をつけてください。
- ◆ 「その他」に○をつけた方は、() 内に具体的なお答えをご記入ください。

ご記入が終わりましたら……

- ◆ ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、8月31日(土)までにご投函くださるようお願いいたします。
- ◆ 切手を貼ったり、差出人の名前を書いたりする必要はありません。

◆◆◆ お問い合わせ先 ◆◆◆

この調査に関するご質問等は、下記までお願いいたします。

おかやまししみんきょうどうぎやくしみんきょうどうぶじんけんすいしんか
岡山市市民協働局市民協働部人権推進課

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1番1号

電話 086-803-1070 FAX 086-225-1699

問1 あなたは、性的マイノリティの当事者だと思いますか？ ただし、答えたくない場合は無記入でも構いません。

- 1 はい → 問1-1へ
- 2 いいえ → 問2へ
- 3 わからない → 問2へ

問1-1 問1で「はい」と答えた方にお聞きします。
あなた自身に近いものはどれですか？（〇はいくつでも）

- 1 「こころ」と「からだ」の性が一致していないことがある
- 2 好きになる性が少数派
- 3 その他の点で少数派

問2 あなたの周り（家族、友人、職場や学校の知人等）に、性的マイノリティの当事者はいますか？

- 1 いる
- 2 いない
- 3 わからない

問3 あなたは、性的マイノリティに対する社会的な関心が高まっていると感じますか？

- 1 感じる
- 2 感じない
- 3 わからない

問4 性的マイノリティの当事者が困っていることは、特に何だと思いますか？

(○は4つまで)

- 1 性的マイノリティに対する理解が不足していること
- 2 性的マイノリティに対する差別や偏見があること
- 3 「男らしさ」「女らしさ」を求められること
- 4 テレビや雑誌、インターネット等で、笑いの対象として扱われること
- 5 自分の性を明かせないことで精神的負担があること
- 6 家族や周囲の理解と協力が得られず、身近に相談できる人がいないこと
- 7 差別的な言動を受けること
- 8 学校・職場で、いやがらせやいじめを受けること
- 9 就職・職場で不利な扱いを受けること
- 10 経済的に自立が困難なこと
- 11 相談できる窓口が少ないこと
- 12 その他 ()
- 13 特に困っていることはない
- 14 わからない

問5 「こころ」と「からだ」の性が異なる性同一性障害※1の人々(トランスジェンダー)の生きづらさは、特に何だと思いますか？(○は3つまで)

- 1 更衣室やトイレが男女別のことが多く入りにくいこと
- 2 宿泊施設において、こころの性での利用ができないこと
- 3 学校・職場で男女別の制服を着ないといけないうこと
- 4 公的な書類等の性別欄に記入する必要があること
- 5 風邪等の病気で病院を受診しにくいこと
- 6 就労の機会が狭まり、経済的に苦しくなること
- 7 じろじろ見られたり、避けられたりする
- 8 ホルモン療法等の性同一性障害※1の治療費が高いこと
- 9 性別を変更するためには、生殖機能を失わせる手術を必要とするなど、要件が厳しいこと
- 10 その他 ()
- 11 特にない
- 12 わからない

問6 同性愛や両性愛のような性的指向がマイノリティである人の生きづらさは、特に何だと思いますか？（○は3つまで）

- 1 同性愛者が身近にいるという認識のない人が多いこと
- 2 日常的に同性愛者をからかうようなテレビ番組や言動等があること
- 3 好きになった人に思いを伝えられないこと
- 4 周囲から異性との交際や結婚を勧められること
- 5 パートナーやその子どもが法的な親族と認められないために、行政等における各種給付やサービス等を受けられないこと
- 6 アパート等住宅への同性パートナーとの入居が容易でないこと
- 7 同性婚が法的に認められていないこと
- 8 差別を禁止する法律がないこと
- 9 その他（)
- 10 特にない
- 11 わからない

問7 あなたが同じ学校や職場の人、友人から性的マイノリティだとカミングアウトされた場合、いままでどおり付き合うことができますか？

- 1 できる
- 2 できない
- 3 その他（)
- 4 わからない

問8 あなたの家族から性的マイノリティだとカミングアウトされた場合、いままでどおり接することができますか？

- 1 できる
- 2 できない
- 3 その他（)
- 4 わからない

問9 性的マイノリティ当事者に対する国・地方自治体の対策として、特に何が必要だと思いますか？（〇は5つまで）

- 1 国、地方自治体職員に対する研修の実施
- 2 広報紙やホームページ、講演会等、市民の理解促進のための啓発活動
- 3 当事者へのアンケート調査
- 4 専門の相談窓口の設置
- 5 性の多様性について交流を行うコミュニティスペースの設置
- 6 性的マイノリティ支援宣言
- 7 パートナーシップ証明書^{※2}の発行等、社会制度の見直し
- 8 公立学校の入学試験願書からの性別欄の削除
- 9 福祉のサービスの利用や、病院での同意書等の記入に際して、法律上の家族や婚姻関係と同様の扱いを受けるようにする制度
- 10 公立病院等における性的マイノリティの人々が受診しやすい配慮
- 11 公共住宅における同性カップルの入居も想定した取扱いの実施
- 12 民間賃貸住宅へ円滑に入居できるような支援
- 13 就労において差別されないような企業への働きかけ
- 14 性的マイノリティ支援を行う企業に対する評価・公表
- 15 性的マイノリティに対する差別を禁じる法律・条例の制定
- 16 その他（ ）
- 17 特にない
- 18 わからない

※2 一定の要件のもとで、地方自治体が同性カップル等を結婚に相当する関係と認める制度。法的な拘束力はない。

問10 学校における取組として、特に何が必要だと思えますか？(〇は4つまで)

- 1 教職員を対象にした研修の実施
- 2 保護者を対象にした研修の実施
- 3 子どもたちへの学習機会
- 4 トイレや更衣室等、教育現場での配慮
- 5 女性のスラックスやジェンダーレス制服の採用
- 6 水泳等の授業における選択制の導入
- 7 不必要な性別欄の削除
- 8 図書館等での性的マイノリティに関連する書籍の設置
- 9 「くん」「さん」の呼び分けの廃止
- 10 宿泊研修、修学旅行等での入浴等の配慮
- 11 進学時の学校間の連携
- 12 アウティング※3の防止
- 13 その他 ()
- 14 特にない
- 15 わからない

※3 本人の許可なく、性的マイノリティであることを周囲の人へ伝えること。

問11 企業における取組として、特に何が必要だと思えますか？(〇は4つまで)

- 1 従業員を対象にした研修の実施
- 2 性的マイノリティに関連するイベントへの参加
- 3 アライ(支援者)※4を増やすための啓発活動
- 4 性的マイノリティに対するハラスメント・差別の禁止の明文化
- 5 社内相談室の設置
- 6 性別によらず使えるトイレ等の設置
- 7 服装・更衣室等の配慮
- 8 同性パートナー等に対する福利厚生への適用
- 9 当事者の従業員のコミュニティづくり
- 10 応募書類の性別欄の見直し
- 11 性的指向、性自認による差別を行わない公正な選考採用
- 12 当事者の学生を対象とした就職活動セミナーの実施
- 13 その他 ()
- 14 特にない
- 15 わからない

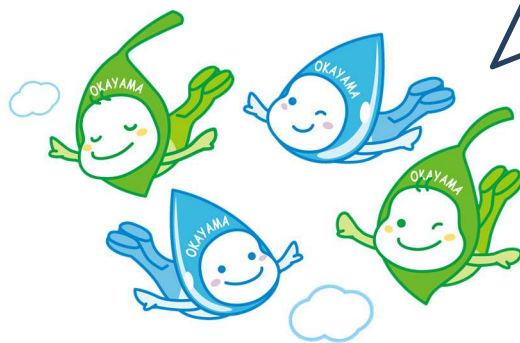
※4 性的マイノリティ当事者ではないが、活動を支持、支援している人たちのこと。

問12 市民に求められることとして、特に何が重要だと思えますか？

(○は4つまで)

- 1 性的マイノリティについて関心を持ち、正確な知識を得ること
- 2 当事者が身近にいることを理解し、普段の言葉遣いに気をつけること
- 3 性的マイノリティを傷つけるような悪口や冗談を言わないこと
- 4 批判的なことを言ったり、性別による決めつけをしたりしないこと
- 5 性的マイノリティに関する情報に気を配り、友だちや家族と話し合うこと
- 6 社会通念等に基づいた固定的男女観を見直すこと
- 7 性的マイノリティに差別的なテレビ番組やインターネット上の情報を子どもに見せないこと
- 8 当事者とのコミュニケーションを図ること
- 9 性的マイノリティに関連するイベントへ参加すること
- 10 地域の中での理解を進めること
- 11 その他 ()
- 12 特にな
- 13 わからない

次のページで
最後です♪



最後に、お答えいただいた回答を統計的に分析するため、あなたご自身のこと
について、差し支えのない範囲でお答えください。

【A】 あなたの性別を教えてください。

【B】 あなたの年齢を教えてください。（令和元年8月1日現在の満年齢）

1	10歳代	5	50歳代
2	20歳代	6	60歳代
3	30歳代	7	70歳代
4	40歳代	8	80歳代以上

【C】 あなたがお住まいの区を教えてください。

1	北区	2	中区	3	東区	4	南区
---	----	---	----	---	----	---	----

★性的マイノリティに関してご意見がありましたら、自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

この調査票は同封の封筒に入れてご返送ください。

（切手は不要です）



性的マイノリティに関する市民意識調査報告書

令和2年2月発行

発行 岡山市市民協働局市民協働部人権推進課
〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1番1号

TEL (086) 803-1070 [直通]

FAX (086) 225-1699

Eメール : jinkensuishin@city.okayama.lg.jp